

ヌ エ バ

NUEVA

革新の42枚パネル
日本リーグ唯一の公式試合球

あなたならどうしたらたかろう...



国際公認球 検定球

42H301WBK
42H201WBK・WR
●手縫い●天然皮革●42枚パネル

SBHB作戦盤



検定球
HSH1
●手縫い●天然皮革●1号球

小学校試合球



国際公認球 検定球
42H310WBK・42H210WBK/WR
●手縫い●天然皮革●42枚パネル

全国中学校大会試合球

molten®

株式会社 **モルテン**

東京本社 東京都墨田区横川5丁目5番7号 TEL (03) 3625-7581(代)
東京・大阪・名古屋・福岡・広島四国・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフG



(財)日本ハンドボール協会常務理事

川上 憲太

21世紀に向けた 広報・企画の充実

たくさんの障害を乗り越え日本のハンドボール界が一丸となって大成を収めたアジアで初めての熊本男子世界選手権大会により広報企画部門にも直接的間接的に多くの財産が残りました。この財産をベースに20世紀最後のオリンピックであるシドニー五輪、21世紀の初頭を飾るであろう大阪オリンピック(招致活動中)と将来のハンドボール界の発展のために一つ一つ具体的目標を掲げ活動に入らねばなりません。

第一に、メディア媒体への積極的アプローチです。メディアとして考えられるものは①テレビ②ラジオ③新聞④雑誌の4つが従来型としてありますが、現在はインターネットをはじめとする今までにない情報媒体が生まれてきて協会としてもすでに活動に入っています。まずテレビ・ラジオですが、すでにスカイAで女子の世界選手権を放映していますように多チャンネル化が進むことによる基本的な対策を考えております。ローカルテレビにも多局化の波を受け番組作りにも苦労をしていますので各地の協会に広報部門を設置し積極的な地元へのアプローチも必要です。今年には日本リーグにストックランとヴォルという世界的プレイヤーが登場しNHK、テレビ東京、読売新聞、日経新聞他でマスコミに取り上げら

れました。また、12月のアジア大会ではNHK・BSチャンネルで4試合放映予定です。今後もNHKとは全日本総合選手権はもちろん(放映は決定)日本リーグプレーオフ中継等放映枠の拡大を交渉中です。新聞・雑誌等につきましては東京記者クラブ、広島記者クラブとのコミュニケーションに加え、中部地区、関西地区、九州地区、北陸地区にも視野を広げて記者クラブとの連携の再構築に努力していかねばと考えるしております。

第2に、協賛企業の拡大への努力であります。現在の日本現在はいまだかつて経験したことのない不況の真只中にあります。片や、少子化や学校教育からクラブチーム化への移行に伴う青少年チームの減少、競技人口の減少等の問題も避けて通れません。このような状況の中で、現在協会が進めている役員登録や「がんばれハンドボール10万人会」のサポート会員募集等に絶大なご理解を頂いて関係者全員で進めていかねばいけないと考えております。さらに、不況とはいえハンドボールに声援をいただける各企業を財界入りリスト・各大学OBリストを中心に時間をかけながら幅広く広報活動に努め、財務体質の強化を背景に協賛企業の拡大の活動を続けていきます。

す。活動の基本となる「協賛募集プランフレットの作成」「ハンドボールグッズの開発」につきましても現在考察・作成中です。

第3に、ハンドボール文化の高揚であります。この件につきましては、市原専務理事が10月号の機関誌で述べられている通りですが、「現在のスポーツ界の流れ」それに我々はどう対処していかねばならないか、「地域社会に密着したスポーツ文化の発祥」「ハンドボール界では選手・審判・役員・OB・父兄・サポーター参加によるメジャー化(10万人体制)」「ビーチハンドボール・車椅子ハンドボールの普及」「小・中学生への普及」「U-16、U-19、U-23の重点強化」などが掲げられておりますが、早急に「JHA 21世紀ビジョン」の立案を行い、ハンドボール全員参加の啓蒙活動に向けて動き出します。最後に、今期の広報部門のメインテーマはシドニー五輪出場に向けての男女ナショナルチームのPRであります。皆様、アジア大会における選手の活躍に絶大なご声援をお願いしますとともに、来春早々に始まる日本リーグ後期にたくさん足を運んで世界的プレイヤーとしてのぎを削る全日本選手そして各チームにご声援下さいますようお願い申し上げます。

協会だより

平成10年10月度常務理事会（拡大常務理事会）

日時

10月17日（土）

10時00分～16時00分

場所

代々木第二体育館 会議室

出席者

中澤副会長、市原専務理事、常

務理事8名、ブロック理事長5名、

監事1名、事務局3名

* 10時より12時まで各本部会議
を開催

拡大常務理事会

1 新会員制度について

新会員登録（案）資料に基づき、新会員登録制度について説明がなされた。全員参加の理念に基づき、登録制度、登録金の見直しを行い、ハンドボール界の活性化のため、普及対策、ジュニア対策、ナショナル選手育成制度、協会運営費などに活用することを目的とする。一般会員は、「がんばれハンドボール10万人会」の仮称とし、各方面で検討を重ね、11月22日全国理事会へ提案する。

2 その他

平成10年度JOCジュニアオリンピックブロック予選補助金が、協賛スポンサーの辞退でなくなったことについて、年度途中でもあることから、本年度に限り日本協会より補助することを決定。
国体ブロック出場枠について、平成12年度までは現行の算出方法で決定していることが確認された。

【報告事項】

故荒川名誉顧問の偲ぶ会を11月8日に実施

シドニーオリンピックアジア予選について、12月バンコクでのアジアハンドボール連盟通常総会で決定する。

常務理事会

■総務本部

①役員ユニフォームについて検討

②ハンドボールシンボルマーク募集について、賞金、副賞を出すことを承認

■競技本部

①'98ジャパンカップに参加のオーストラリアチーム来日について、来日費用を補助することを承認。参加チームを報告。本大会前後で、実業団チームと親善試合を実施。

②第50回全日本総合選手権大会について、平成10年度神戸で男女同時開催で実施。12月26日決勝戦をNHK教育TVの全国ネットで放映を報告。

'98ジャパンカップと合わせ広告協賛を要請。

③公認審判員規定における終身審判員の管理資格について、改定を承認。

■強化事業本部

①強化関連特別会計第2次補正予算を承認。

②ドーピングテストについて、1998年より2000年に向け試行および適用期間を報告。本年度は日本リーグプレーオフとトレーニング時に実施。

③アジア大会で実施予定であった'99年男子世界選手権予選が、急遽東西アジアに分かれて実施することを報告。このため、男子ナシ

ヨナルの国体不参加のための手続きを依頼。
今後の対応のための団長、副団長を承認。

【報告事項】

■総務本部

①第53回国体日本協会役割分担について了承。

②平成10年度全国理事長会議について、内容等の報告。

③第5回アジア女子ジュニア選手権大会の収支並びに中間決算報告。

■競技本部

①'98フェスティバルについて、12月に東京体育館で実施計画の報告があり、再検討となった。

②平成10年度登録について9月30日現在の報告があった。

■強化事業本部

①スポンサー「サンクス」について、次年度よりの協賛がほぼ確定した報告があり、条件等をふまえ、マニュアルおよび計画書を作成、都道府県協会、大会開催本部へ協力依頼することとなった。

②全ナショナルチームの国内・国際大会の実績と今後の大会予定の報告。

③日本リーグ関連のTVK放映カードと10月15日現在の結果報告。



これが、飲みごたえ。
キリンラガービール

新鮮な明日へ
KIRIN
うまい!キリン

飲酒は20歳になってから。キリンビール株式会社

全国理事長研修会

1998年10月23日(土)
於Lプラザ

杉山茂氏(元NHKスポーツ報道センター長)講演会

国体の総合開会式終了後、横浜・石川町にあるLプラザで元NHKスポーツ報道センター長の杉山茂氏による講演会が開催された。杉山茂氏の講演は、恐らくは自身の日頃からの緻密な取材活動に基づく莫大な資料(データ)と、正しい時代認識に基づいており、ハンドボールを限りなく愛する一市民の立場を常に忘れずに、しかし、極めて客観的な立場から、ハンドボールを取り巻く環境の変遷と、今後のハンドボールのあるべき姿について、約1時間半に渡り、聴衆を常に魅了させながら進められた。読者の皆さんに直接お聞かせしたいような素晴らしい講演会であった。なお、今回の講演会は、先頃急逝された故荒川清美氏に捧げたいと、杉山茂氏が言われていることも敢えて付記しておく。

◆講演会要旨

最近25年間のスポーツ界を考えてみると、2つの大きな歴史的事件があり、これを転機にスポーツ界は大きく変わっていった。

ひとつは、1974年、国際オリンピック委員会(IOC)が、その憲章から「アマチュア」の字句を一切削除したことであり、もうひとつは、1989年の東西ドイツの統一に象徴される、東西の壁の崩壊である。

1974年の事件は、ステート・アマチュア(国家丸抱えのアマチュア)により金メダルを独占してきた「東側」諸国対「西側」諸国の対立の構図から生じたものである。憲章から「アマチュア」の字句がなくなった結果、これ以後、スポーツは事業として捉えられるようになっていくのであった。スポーツ界は、このような重大な転機を迎えたのだったが、1972年のミュンヘン・オリンピックで、念願の「オリンピック復活」を果たしたばかりのハンドボール界にはこの時大きな反響はなかった。

しかし、ハンドボールでも「東側諸国」の優位は続いていった。男子のオリンピック優勝国で見ると、復活を果たしたミュンヘン大会では旧ユーゴスラヴィアが、その後のモントリオール(旧ソ連)、モスクワ(旧東ドイツ)、ロスアンゼルス(旧ユーゴ)、ソウル(旧ソ連)、バルセロナ(旧CIS諸国)、そして、アトランタ(クロアチア)に至るまで、「東側諸国」または「旧東側諸国」が常にメダルを独占してきた。こう見ていくと、最近でこそ、女子で韓国やデンマークの台頭が見られるようになってきたが、ハンドボールではいまだに「東側諸国」の優位が続いていると言える。

しかし、1989年の事件は、それまでの「東側諸国」対「西側諸国」という従来の対立の構図を大きく塗り替えるものとなった。この事件以降、プロフェッショナル選手が国際的に容認されるようになり、遂に、1994年のIHF総会では、その規約改正の条文中に「プロフェッショナル」という言葉が登場させる、画期的な会議となった。1997年の世界選手権の開催地が、日本の熊本に決まった会議でもあったが、

それ以後プロ化の道は、欧州諸国でとどまる所を知らず、特に、ドイツのブンデス・リガは、EUの統合による「EU域内の選手は外国人と見なさない」という規約に基づき、欧州各地からナショナル・レベルの選手が集まり、ブルデス・リガは、ハンドボールのNBAかと言われるほどの隆盛を極めるに至っている。

このようなプロ化の流れは、遂にあらゆるスポーツの「賞金化」を促すようになってきた。陸上競技やテニス等のスポーツでは、賞金の高さや得やすさを見て、選手が大会参加を決めているのが現状である。我がハンドボール界もご多分に漏れず、本年9月のIHF総会で、世界選手権の賞金問題が検討された。早ければ2001年のフランス大会より、総額1、000万円(優勝国には5万スイスフラン・約400万円)の賞金を懸ける計画という。



◆理事長会議・議事録

ア・パリユール)のあるものとして見なし、取り上げる目安を、日本国内では少なくとも10万人の競技人口を持つものとしている。つまり、10万人に満たない競技スポーツは、「メディア・パリユール」がなれないものとして取り上げてもらえなくなるということである。今日の状況で、これはその競技スポーツにとって死を意味するに等しい。

本日から始まった国体で、読売新聞は、その記録の掲載を取りやめている。大会新記録が出れば書くが、そうでなければ「メディア・パリユール」がないので取り上げないということなのだ。地方紙にとっては国体は一大スポーツイベントなので掲載されることになると思うが、全国紙レベルではどうなっていくか。

以上のような厳しい環境の中で、日本協会が打ち出された「ハンドボール・ファミリーの団結」に両手を挙げて賛成したい。事態は急を告げている。皆さんが自分のチームを愛するように、ハンドボール協会を愛しましょう。皆さんにハンドボール協会を愛する気持ちがないと、ハンドボール競技は減る可能性もある。

皆さんの団結により競技人口を増やし、「メディア・パリユール」のある競技といわれるようにすべきではないか。競技スポーツとして

らっているのも、その一例である。日本も、愛知県のチームがタイのチームをサポーターしたり、湧永製薬がオーストラリアに行つて指導したりするなど途上国の普及活動に一役買っている。

いつの日か、マカオや西サモアといったハンドボールが普及されたばかりの国々から、日本に選手を預かってくれないかと頼まれた時、預かれるだけの度量が持てる国になって欲しいと思うし、また、預からなければならぬのではなにかとも思う。

このような、国境を超えた活動の狙いは、競技人口を如何に増やすかということである。現代は情報化社会と言われているが、情報伝達媒体であるマスコミが、ある競技スポーツを媒体価値(メディア

のハンドボールばかりではなく、生涯スポーツ(楽しむスポーツ)としてのハンドボールの普及、即ち、少人数でもできるビーチ・ハンドボールや障害を持つ方々のための車椅子ハンドボールの普及にも力を入れていくべきではなからうか。これまで以上に都道府県協会の充実が望まれ、日本協会と同じ視点と視野でハンドボールを見つめる姿勢、体制が欲しいということになる。

◆理事長会議・議事録

日時・1998年10月23日(土)
場所・横浜・Lプラザ
出席者：市原専務理事、常務理事6名、各協会理事長27名、各連盟理事長4名、事務局3名

- 1 常務理事自己紹介
- 2 専務理事挨拶(市原専務理事)
・ 故荒川清美氏を偲ぶ会：11月8日(日)に実施
- ・ 「世界の潮流と日本国内の動きをよく見てスポーツを振興する」「情報開示(ディスクロージャー)」を広報を中心に日本協会の運営をしている。
- 3 野田常務理事(強化事業本部)より

(1)世界選手権アジア地区予選について

- (2)ジャパンカップについて
 - (3)日本リーグについて
 - 4 大西常務理事(競技本部)より
 - 5 殿水常務理事(総務本部)より
- させることにより、仲間を増やしていきたい。
- 競技人口減少問題について
- ・ 187チーム、約5、500人の競技人口が減少した。
 - ・ マスター・ハンドボール、ビーチ・ハンドボール、障害者ハンドボール等を普及
- (1)新会員登録制度について
 - (2)登録金値上げについて
 - (3)ハンドボールのシンボルマーク公募について
 - 6 質疑応答

**1999年男子世界選手権東アジア予選
日本ナショナルチーム残念ながら出場権を逸する**

開催まで多くの問題を起こした1999年男子世界選手権大会、東アジア予選が、11月3日から5日まで、中国の北京で行われた。日本ナショナルチームは、準備不足もあり残念ながら、来年の世界選手権の出場権を逃すこととなった。

第1戦 日本対中国
石景山体育館 観衆4000

第2戦 日本対韓国
石景山体育館 観衆2000

日本	21	9	12	23	中国
	12	11			

日本	15	4	10	25	韓国
	11	15			

大観衆の応援の中、試合が始まった。非常に日本の動きが堅く3連続失点でスタート。中盤さらにリードを広げられたが、終盤盛り返し日本の3点ビハイ

本日勝って、WCに出場したかったが、終ってみれば大敗という結果。接戦は前半の10分までであった。

天皇杯は地元神奈川県が獲得

皇后杯は石川県が獲得

少年男子では、横浜商工が三冠達成

第53回国民体育大会かながわ・ゆめ国体は、「お汗 こ汗」のスローガンのもと、神奈川県横浜市の横浜文化体育館、平沼記念体育館、横浜市立大学体育館、神奈川大学体育館で成年の部が、川崎市とどろきアリーナで少年の部が、10月25日から29日まで開催された。大会は、直前の男子世界選手権予選変更のため、ナショナル選手が不出場となった。

注目の天皇杯は、昨年総合優勝の大阪、4種別とも出場の埼玉、愛知、三重と地元神奈川の争いに見られたが、ナショナル選手の不出場もあり、有力候補が次々と敗退していく中、少年女子の大活躍もあり地元神奈川が獲得した。

【成年男子の部】

本田技研が

11年ぶり2回目の優勝

大会直前に1999年男子世界選手権東アジア予選が開催されることになり、ナショナルチームメンバーは、急遽予選に参加のため選手交代をすることとなった。本田技研はチーム内の変更であった

が、大同特殊鋼は愛知選抜とチーム名を変更し、トヨタ車体との連合で大会に望んだ。広島選抜はもとも湧永製薬と日新製鋼の連合であったが、6名の選手が交代することとなった。

大会の展開は、ナショナル選手が抜けたといえども選手層の厚さを誇る日本リーグ勢が順当に駒を進めた。地元神奈川は、初戦立ち上がり地元のプレッシャーからか、非常に堅く、11分には8-2とリードを許したが、この後なんとかもちなおし逆転で2回戦へと駒を進め、天皇杯獲得ポイントを稼いだ。

【準決勝】

広島 26
14-6
12-10
16 東京

【戦評】開始早々、両者ハードなボディーチェックでディフェンスをする。6分が経過したところで1-1、広島は源内、田場の得点により攻撃のリズムをつかむ。16分には東京チーム4枚目の警告で退場者が出て、広島はこの2分間、貝田のサイドシュートできっちり2-0、ここから流れは一気に広島に傾き、前半を16-6と大きくリードする。後半は広島が8点のリードを活かしたゲーム運びをして余裕ある勝利を収めた。

【準決勝】

三重 18
8-8
10-7
15 愛知

【戦評】試合開始から愛知は三重の斉藤、加藤をマンツーマンで封じる作戦に出る。しかし、三重は池辺、羽賀の高さを活かした守りからの速攻で主導権を握る。立て続けに退場者を出した愛知は苦戦を強いられるが、清水が豪快に打ち込み、21分に逆転。しかし三重も斉藤の7MTで追いつき、8-8で前半を終える。後半8分から愛知はディフェンスを変えろが、三重はバランス良く得点を重ね3点をリードする。ここで愛知はディフェンスを戻し、清水の強打で1点差に詰め寄ったが、他に攻め手が見当たらず攻撃が単調になる。一方の三重は落ち着きを取り戻し、守りを固めて逃げ切った。

【3位決定戦】

愛知 21
12-10
9-10
20 東京

【戦評】前半5番荻本のミドル、11番柴田のサイドシュートなどで得点を重ねた愛知が、3番飯島のロング、6番渡辺の7MTなどで追い上げる東京に2点差をつけて折り返す。後半10分11番湯井のサイドシュートで一度は逆転に成功し

“かながわ・ゆめ国体”成績

男子総合成績《天皇杯》

第1位	神奈川県	102.5点
第2位	石川県	62.5点
第3位	兵庫県	57.5点
第3位	広島県	57.5点
第5位	山梨県	52.5点
第5位	愛知県	52.5点
第7位	三重県	50点
第8位	熊本県	45点
第8位	大分県	45点

女子総合成績《皇后杯》

第1位	石川県	62.5点
第2位	神奈川県	50点
第3位	兵庫県	45点
第3位	熊本県	45点
第5位	岩手県	40点
第5位	栃木県	40点
第7位	宮城県	35点
第7位	富山県	35点

た東京だったが、残り5分、6番渡辺の退場の間に、愛知11番柴田のサイドシュート、8番清水のステップシュートを決められ逆転を許し、逃げ切られた。

得点	番号	選手名	得点	番号	選手名
0	1	川島	0	1	宇五
0	2	島岡	0	2	飯長
0	3	岡川	0	3	中渡
1	4	藤田	0	4	須布
0	5	田井	0	5	酒田
0	6	村計	0	6	湯元
1	7		0	7	
6	8		0	8	
0	9		0	9	
2	10		0	10	
0	11		0	11	
1	12		0	12	
4			0		
0			0		
21			21		

【決勝】

三	重	20	12
8	12	10	
9	10		
		19	広
			島



【戦評】前半の立ち上がり、三重笹浪のサイドシュートや速攻などで4-1と三重が好スタートをきった。徐々にエンジンのかかってきた広島であるが、三重GK四方の再三のファインセーブに阻まれ追いつくことができず、12-10で前半を終了。後半2点を追う広島は開始から斉藤・加藤にダブルマンツーマンをつける。これが功を奏し三重はリズムを失い、11分には遂に追いつかれ一進一退の攻防となる。残り4分19-19、両GKのファインセーブで得点が動かない。会場が絶叫する中、残り30秒、三重・加藤がミドルシュートを決め、三重が大接戦を制した。

得点	番号	選手名	得点	番号	選手名
0	1	川田	0	1	宇貝
0	2	沢場	0	2	小田
1	3	本原	1	3	浜河
6	4	村沢	3	4	河木
0	5	内中	4	5	木鮎
0	6	田田	5	6	田高
2	7		6	7	
1	8		7	8	
0	9		8	9	
0	10		9	10	
2	11		10	11	
0	12		11	12	
1			12		
20			20		

【成年女子の部】

北国銀行が3年ぶり2度目の優勝

成年女子の部は、北国銀行、オムロンなど日本リーグ勢を中心に

展開されることが予想された。また、大和銀行にとっては3連覇がかかっていた。展開は予想通り、日本リーグ勢を中心に展開された。地元神奈川はこの一角を崩すべく奮戦し、広島選抜に残り5分までリードを奪っていたが、要所の7MTの失敗が響き1点差で2回戦の壁を破ることができなかった。

熊	本	21	10
11	10	9	
8	9		
		17	富
			山

【戦評】前半テンポの良い8番高橋のパスワークから6番宮本、4番指野ミドル、GK山口の好守でリードを広げた熊本に対して、富山は10番児島の切れのあるステップシュート、8番鏡森のミドルシュートなどで1点差まで追い上げたところで終了する。後半に入ってもセンターから切れのあるシュートを決める富山の6番児島をマンツーマンで守った熊本が、徐々にリードを広げ4点差で逃げ切った。

【準決勝】

石	川	28	15
13	15	10	
11	10		
		21	栃
			木

【戦評】前半、栃木は石川の高い守りに苦戦し、ミスから失点する

ことがしばしば見られた。石川は2番上出、長身ポスト3番田中(由)のパワープレーで栃木の守りを崩し、また11番田中(美)のロングシュートや8番中村のカットインが要所で決まり、徐々にリードを広げた。後半栃木はポストやサイドを使い粘り強い攻撃を続けるが、石川も11番田中(美)や10番和田の活躍で栃木の追撃を許さず、点差は縮まることなく終了した。

栃	木	33	14
3	14	13	
2	15		
1	3	32	富
			山

【戦評】惜しくも決勝進出を逃した両チームであるが選手の表情は非常に晴れやかであった。前半早々栃木が素早い動きから4点を先行したが、富山も粘り強い攻撃で10分過ぎには振り出しに戻した。富山は10番児島、4番中塚を擁するロングシューターのチーム。一方、栃木は7番沖土居を中心としたカットイン主体のチームと、タイプの違う両者の戦いはほぼ互角であった。後半5分過ぎ、栃木は退場者を出してから一時富山に5点のリードを許したが19分には再び同点、その後は1点を争う激戦で、やや栃木優勢であったが29分

【3位決定戦】

得点	番号	選手名	得点	番号	選手名
0	1	間浦	0	1	本三
0	2	本塚	0	2	松中
4	3	山本	0	3	前小
0	4	水有	0	4	山鏡
4	5	森理	0	5	山児
0	6	島藤	0	6	新佐
7	7	崎	0	7	
3	8		0	8	
3	9		0	9	
0	10		0	10	
3	11		0	11	
0	12		0	12	
33			33		

【決勝】

石	川	25	15
10	15	10	
9	10		
		19	熊
			本

【戦評】石川の上出、熊本の宮本のカットインで始まったゲームは、前半20分近くまでは同点で互角の戦い。ここで石川の中村が鋭い出足で2本連続のパスカット、一気に3点差となる。ここで熊本は宮本の頑張りで粘るが、石川はサウスポーター田中がロングを決めて常にリードを保つ。熊本は田中をマンツーマンで守るが、広くなったデフエンスを上出に割られ、5点差となって前半終了。後半から熊本は積極的にロングを狙うが、長

【少年女子の部】

京都洛北の3冠成らず

少年女子の部は、京都選抜・洛北高校の3冠達成が注目されたが、2回戦で岩手選抜（盛岡第二）の好プレーの前に敗れ去った。大会の展開は、京都選抜（洛北）、愛知選抜、兵庫選抜を中心に展開すると思われたが、愛知選抜、京都選抜は早々と姿を消した。ベスト4は、今大会好プレーの光る岩手選抜、地元の利を活かし勢いに乗る全神奈川、U-19のナショナルチーム井上監督の率いる兵庫選抜混戦を抜け出した宮城選抜となった。全神奈川は、準決勝で岩手選抜と延長の大激戦の上勝利をものにし、そのまま勢いで初優勝を飾った。

【準決勝】

神奈川	24	13	7
		13	7
	22	0	0
	2	2	2
	2	0	2
岩手	22	0	0

【戦評】京都（洛北）を破り勢いに乗る岩手と地元神奈川の対戦、岩手8番志田のミドルシュートでゲームが始まる。神奈川も2番花房の速攻、サイドと連取、その後7番上町のシュート、神奈川も渡辺・

一本のカットインと一進一退が続く。残り8分、神奈川はフォーメーションでポスト才治がゴール、GK西井の活躍で7-7の同点で前半終了。後半、岩手が2点を連取、神奈川もサイドから垣ケ原がゴール、7分に11-11の同点となる。岩手7番上町がステップ、ミドルを決めると神奈川も渡辺が手

わたしからゴールと13分岩手8番志田のロングで16-13、岩手3点リードとなり、神奈川はタイムアウト。しかし16分岩手エース上町が2度目の退場。ここで神奈川は一本がカットイン、花房が速攻、青沼がセンターからゴールでついに同点。ノータイムで延長へ。神奈川のゴールで始まった延長は、神奈川のペースで24-22で勝利となる。

【準決勝】

兵庫	19	9	4
		10	5
	10	1	5
	10	1	5
宮城	9	4	5

【戦評】試合開始2分までに陣崎のカットインシュート、太田の2連続得点で兵庫が幸先良いスタート。兵庫に攻撃のミスが出始めるが、宮城も兵庫の守りを崩せず、9分過ぎに三浦のパスカットからの速攻でやっと得点。その後一進一退が進むが、残り5分を兵庫が三浦の2連続得点やGK宮永の好

セーブで5点差をつけて前半を終了。後半兵庫三浦の速攻でスタートするも、宮城も橋沼のステップシュートで応戦。ただ、兵庫の厚いディフェンスとGK宮永の好セーブで、宮城はペースを作れない。その間、兵庫はサウスポーチ村のミドルシュート、陣崎のカットインシュートで確実に加点。宮

城は17分過ぎから3連続得点を決めねばりを見せるが、終始兵庫のペースで進んだ試合であった。

【3位決定戦】

岩手	26	9	11
		17	10
	17	10	10
	17	10	10
宮城	21	10	11

【戦評】立ち上がり、固さの見える中、宮城K鎌田のパスカットからの速攻、岩手上町のフリースローからのロングシュートでスタートするも、お互いミスが多い。その中、先に抜け出したのは岩手。5分過ぎに小笠原のサイドシュートを皮切りに、GK阿部の好セーブもあり、5点連取し一気に逆転、波に乗る。しかし宮城も10分過ぎに庄内が7MTを確実に決めてからディフェンス・オフエンスともに動きが良くなり、17分過ぎに同点に。そのまま調子をつかんだ宮城が11-9とし前半を終わ

る。後半宮城が先に取るも、岩手も3連取で5分までに同点に。た

だ宮城もあわてず、宮城リードの展開が続く。12分過ぎに宮城に退場者が出てから流れがかわる。岩手が15分に追いつき、小笠原のサイドシュート3連続で逆にリードする展開。宮城も粘るが、一気にムードに乗った岩手の勢いを止められなかった。

点	0	2	5	0	0	6	0	0	0	1	7	0	21
得点	0	4	1	0	5	0	3	7	2	1	3	0	26
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
名	部山	沼島	原辺	町田	田村	村							(本)
氏	阿村	浅成	小渡	上志	太山	中藤	計						
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
名	高鎌	橋小	門庄	早志	設佐	三菊							(安)
氏	高鎌	橋小	門庄	早志	設佐	三菊							(安)

【決勝】

神奈川	13	8	5
		5	7
	5	7	7
	5	7	7
兵庫	12	5	7

【戦評】神奈川3番渡辺の速攻でゲーム開始、兵庫3番中村のステップで同点。ここで神奈川はエースの一本のロングでリード。さらに2番花房のワンマンで3対1とする。兵庫も5番太田が1対1で、3番中村がカットインで5-4、1点差と詰め寄るが、神奈川も6番青沼がセンターからミドルを決め前半19分7-4、3点リードでタイムアウト。神奈川は1-5デ

イフェンス、0-6ディフェンスの使い分けが良く、兵庫が苦しい攻撃。ここで神奈川3番渡辺が貴重なカットインを決め8-5とリードで前半終了。後半垣ケ原が7MTを決め4点差、また、兵庫の攻撃をGK西井が救う。しかしここから兵庫が走って追い上げるが神奈川もフォーメーションが見事に決まる。13-9、残り8分で神奈川に退場者が出るが兵庫はミスが続く。兵庫も走って残り2分で1点差、しかし神奈川が逃げ切り、地元優勝となる。

点	0	0	4	0	5	0	0	1	1	1	0	0	12
得点	0	2	3	3	0	3	0	1	0	0	1	0	13
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
名	井房	辺木	木沼	山原	川村	治泉							(中山)
氏	井房	辺木	木沼	山原	川村	治泉							(中山)
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
名	宮前	中三	太畑	森阿	山陣	濱西							(河)
氏	宮前	中三	太畑	森阿	山陣	濱西							(河)



第53回国民体育大会かながわ・ゆめ国体最終成績

成年男子

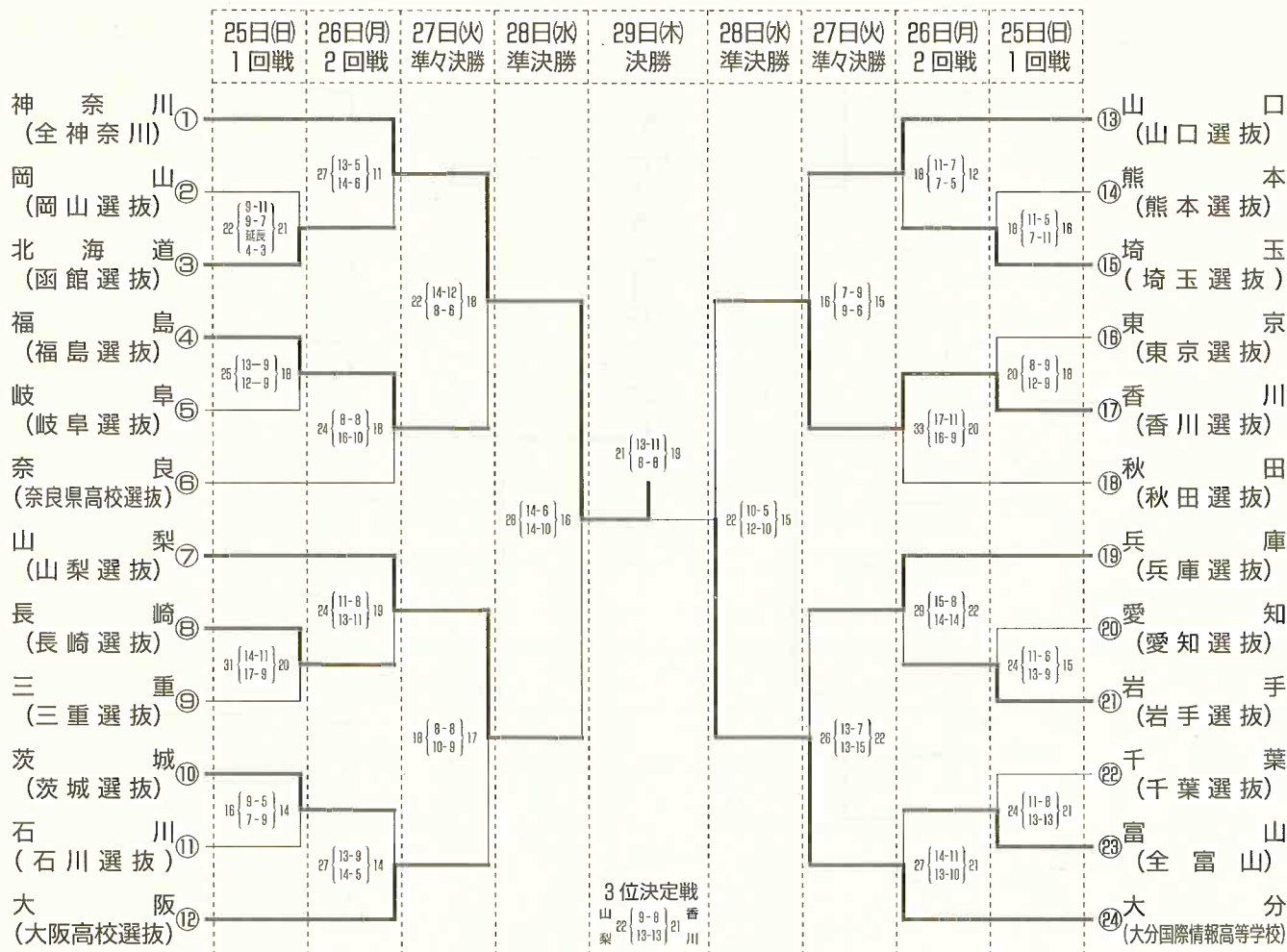
	26日(月) 1回戦	27日(火) 準々決勝	28日(水) 準決勝	29日(木) 決勝	28日(水) 準決勝	27日(火) 準々決勝	26日(月) 1回戦	
広島 (広島選抜) ①	39 {17-4 / 22-10} 14	37 {17-4 / 20-6} 10	26 {14-6 / 12-10} 16	19 {10-12 / 9-8} 20	18 {8-8 / 10-7} 15	23 {10-11 / 13-8} 19	19 {11-6 / 8-9} 15	三 (本田技研) 重
北海道 (北海道選抜) ②	28 {11-14 / 15-6} 20							10
茨城 (茨城選抜) ③	23 {12-8 / 11-12} 20	24 {11-9 / 13-7} 16	26 {14-6 / 12-10} 16	19 {10-12 / 9-8} 20	18 {8-8 / 10-7} 15	30 {14-10 / 16-4} 14	29 {13-10 / 16-14} 24	埼玉 (OSAKI OSOL) ⑪
岩手 (岩手選抜) ④	25 {13-11 / 12-12} 23							16
佐賀 (佐賀選抜) ⑤	22 {9-7 / 13-7} 14	23 {10-8 / 13-11} 19	26 {14-6 / 12-10} 16	19 {10-12 / 9-8} 20	18 {8-8 / 10-7} 15	33 {13-11 / 20-10} 21	33 {13-11 / 20-10} 21	沖縄 (沖縄教員) ⑬
京都 (京都クラブ) ⑥	22 {9-9 / 14-13} 22							19
富山 (全富山) ⑦	21 {10-7 / 11-13} 20	24 {12-9 / 12-9} 18	26 {14-6 / 12-10} 16	19 {15-10 / 10-9} 19	21 {10-9 / 11-8} 17	25 {16-8 / 9-16} 24	31 {16-8 / 13-12} 20	福島 (福島選抜) ⑮
東京 (三陽商会) ⑧	33 {17-2 / 16-5} 7							18
				3位決定戦 東京 20 {10-12 / 10-9} 21 愛知 21 {10-12 / 10-9} 21				

成年女子

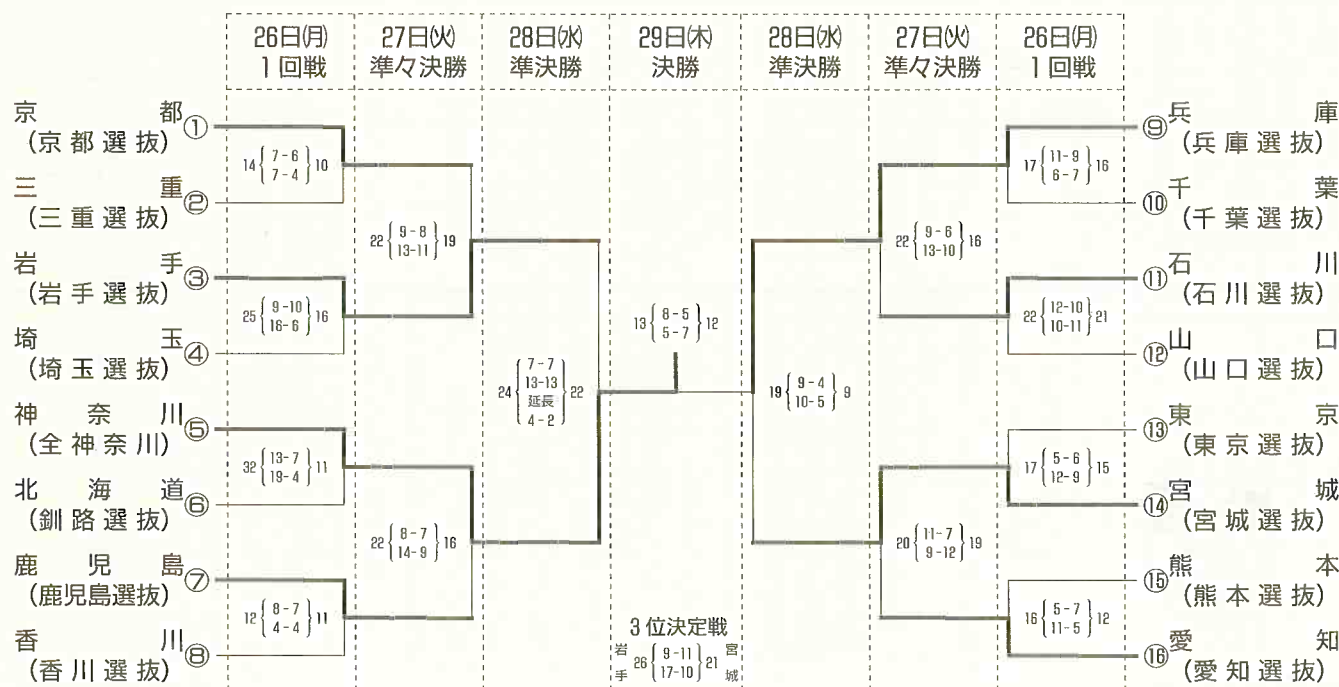
	25日(日) 1回戦	26日(月) 2回戦	27日(火) 準々決勝	28日(水) 準決勝	29日(木) 決勝	28日(水) 準決勝	27日(火) 準々決勝	26日(月) 2回戦	25日(日) 1回戦		
広島 (広島選抜) ①	18 {10-7 / 8-9} 16	16 {7-10 / 11-7} 17	23 {10-8 / 13-11} 19	26 {15-10 / 13-11} 21	25 {15-10 / 10-9} 19	22 {8-8 / 14-12} 20	38 {17-8 / 21-5} 13	32 {15-7 / 17-8} 15	38 {17-8 / 21-5} 13	熊本 (オムロン) ⑬	
神奈川 (全神奈川) ②	22 {9-9 / 14-13} 22									17	19
岩手 (岩手選抜) ③	21 {10-7 / 11-13} 20	28 {14-7 / 14-11} 18	24 {12-9 / 12-9} 18	26 {15-10 / 13-11} 21	21 {10-9 / 11-8} 17	25 {16-8 / 9-16} 24	33 {21-8 / 17-11} 19	26 {12-6 / 14-7} 13	27 {13-9 / 14-12} 21	福島 (福島ムネカタ) ⑮	
愛知 (ブラザー工業) ④	33 {17-2 / 16-5} 7									18	18
福岡 (F・C・C) ⑤	28 {14-7 / 14-11} 18	28 {14-7 / 14-11} 18	24 {12-9 / 12-9} 18	26 {15-10 / 13-11} 21	21 {10-9 / 11-8} 17	25 {16-8 / 9-16} 24	33 {21-8 / 17-11} 19	26 {12-6 / 14-7} 13	27 {13-9 / 14-12} 21	福井 (福井選抜) ⑰	
栃木 (日立栃木) ⑥	40 {17-5 / 23-6} 11									18	18
大阪 (大和銀行) ⑦	21 {10-7 / 11-13} 20	28 {14-7 / 14-11} 18	24 {12-9 / 12-9} 18	26 {15-10 / 13-11} 21	21 {10-9 / 11-8} 17	25 {16-8 / 9-16} 24	33 {21-8 / 17-11} 19	26 {12-6 / 14-7} 13	27 {13-9 / 14-12} 21	富山 (立山アルミ) ⑲	
宮城 (宮城選抜) ⑧	33 {17-2 / 16-5} 7									18	18
北海道 (六陵クラブ) ⑨	21 {10-7 / 11-13} 20	28 {14-7 / 14-11} 18	24 {12-9 / 12-9} 18	26 {15-10 / 13-11} 21	21 {10-9 / 11-8} 17	25 {16-8 / 9-16} 24	33 {21-8 / 17-11} 19	26 {12-6 / 14-7} 13	27 {13-9 / 14-12} 21	香川 (香川銀行クラブ) ㉑	
宮崎 (全宮崎) ⑩	33 {17-2 / 16-5} 7									18	18
千葉 (千葉選抜) ⑪	28 {14-7 / 14-11} 18	28 {14-7 / 14-11} 18	24 {12-9 / 12-9} 18	26 {15-10 / 13-11} 21	21 {10-9 / 11-8} 17	25 {16-8 / 9-16} 24	33 {21-8 / 17-11} 19	26 {12-6 / 14-7} 13	27 {13-9 / 14-12} 21	山梨 (株シャトレーゼ) ㉓	
石川 (北國銀行) ⑫	21 {10-7 / 11-13} 20									18	18
				3位決定戦 栃木 33 {14-13 / 14-15 / 2-3 / 3-1} 32 富山 32 {14-13 / 14-15 / 2-3 / 3-1} 32							

第53回国民体育大会かながわ・ゆめ国体最終成績

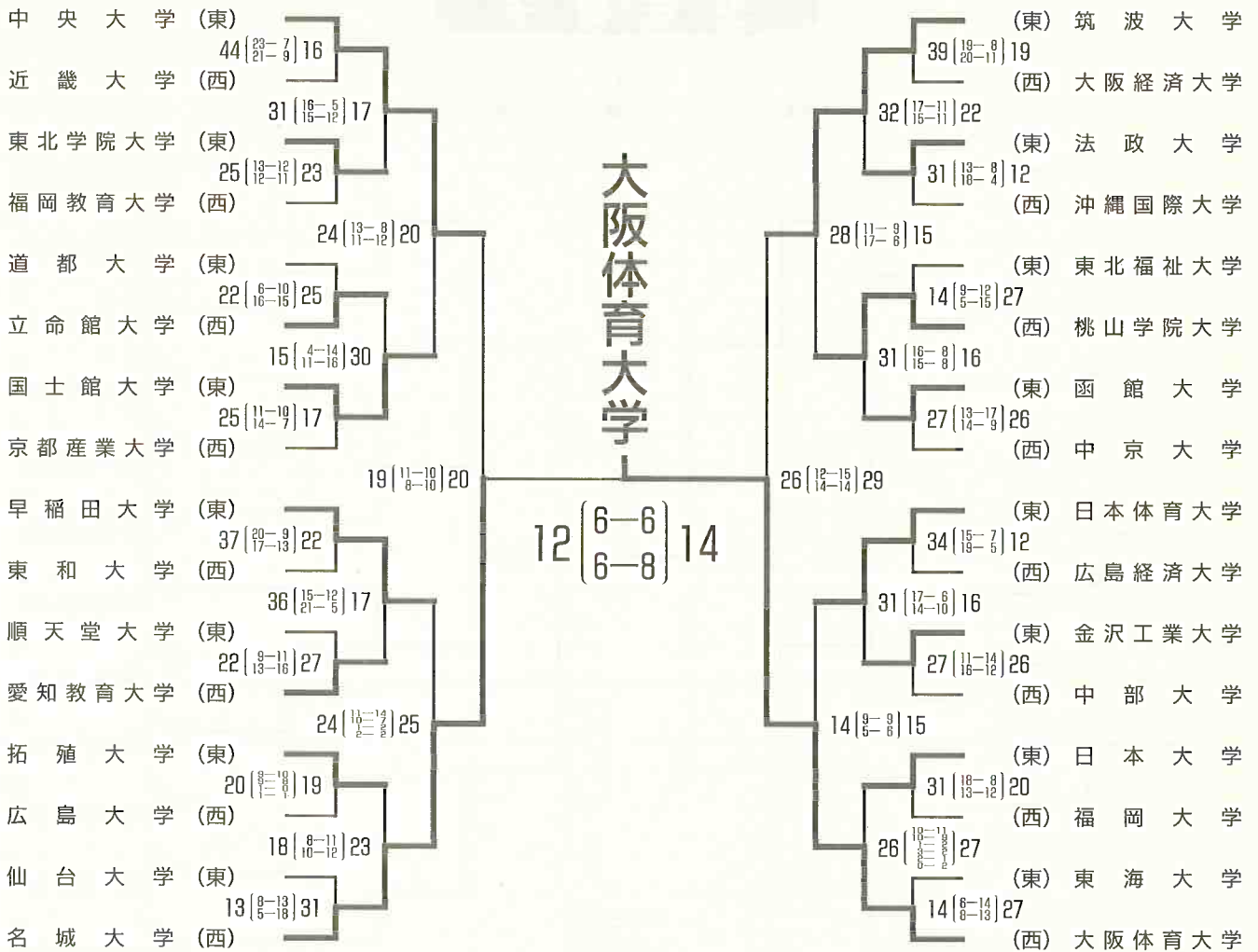
少年男子



少年女子



《男子の部》



決勝は西日本対決
大阪体育大学が、2年ぶり7回目の優勝

第41回高松宮杯全日本学生ハンドボール選手権大会は、11月18日(水)より、22日まで、名古屋市中村スポーツセンターを主会場に、枇杷島スポーツセンター、露橋スポーツセンター、太白スポーツセンターで行われた。

注目の決勝戦は、関東勢を破り勝ち進んだ大阪体育大と、優勝候補の一角と見られた、早大、中大を、激戦の末1点差で退けた名城大の、西日本決勝となった。

決勝戦は、がっぷり四つに組んだ好ゲームとなった。前半は、1点差以上に点差が開かぬ6度のタイスコアアード、6-6で終えた。後半に入って5分すぎ、大体大が抜け出す、すぐさま名城大も追いつく。残り10分あたりから大体大が3連取で主導権をにぎった。名城大も、加藤でふんばるが、時すでに遅く、大体大の2年ぶり7回目の優勝となった。

大会の展開は、東西インカレ1・2位のシード組に、早大、日体大などの実力校を中心に展開すると予想されたが、大体大は、2回戦で、秋のリーグ好調であった日本大学に、第二延長にまでもつれ込む大激戦を制して勝ち上がった。

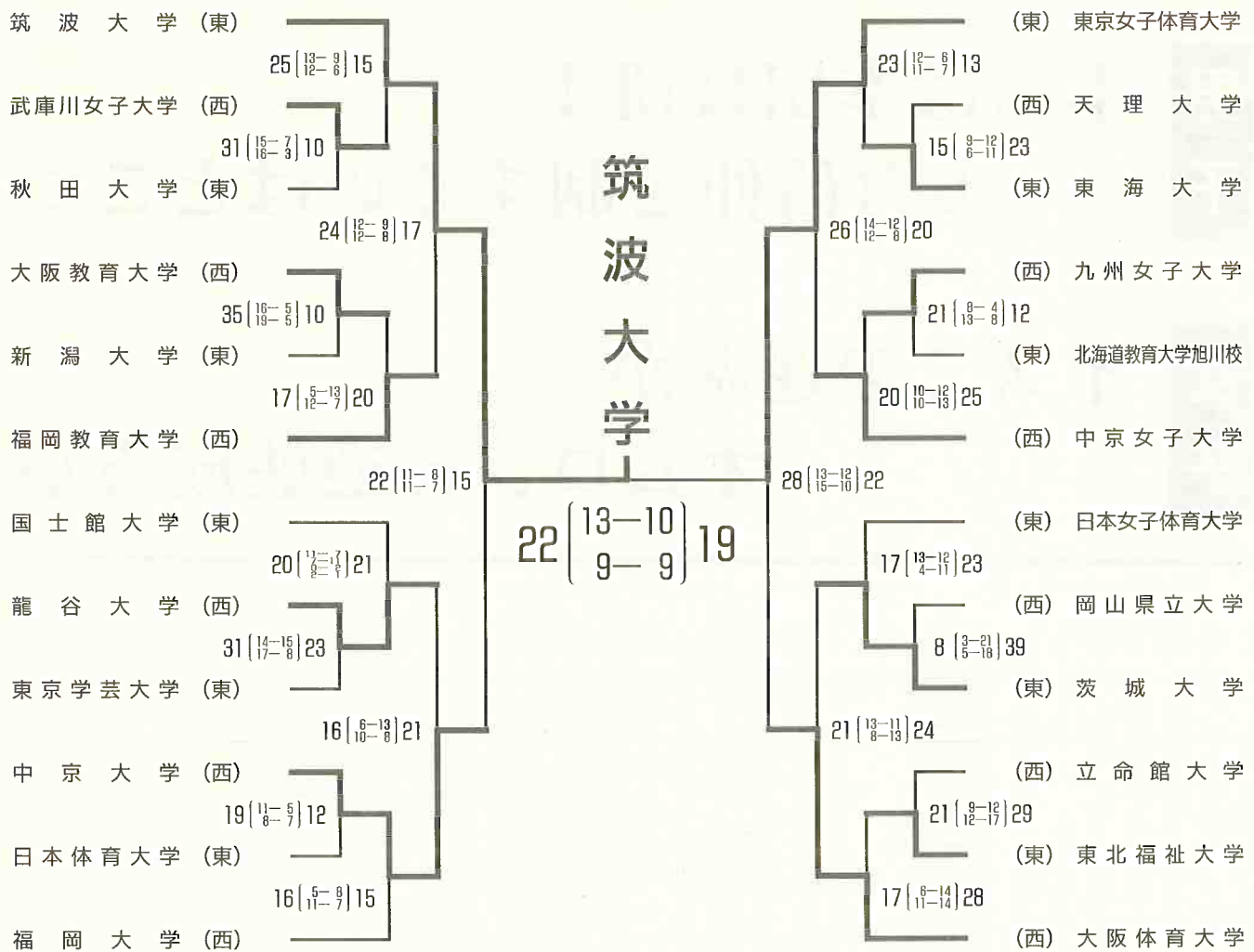
また、3回戦では、日体大と両チーム合わせて、退場が12回、失格が1回と荒れたゲームのなか、やはり1点差で、勝ち進んだ。一方、名城大は、準々決勝で早大と当たったが、早大の後半のねばりで延長にもつれ込んだ。延長後半、一度はリードを許すが、残り1分を切って、再逆点。そのまま逃げ切り、準決勝へと駒を進めた。

準決勝は、中大対名城大、大体大対筑波大の対戦となった。中大対名城大戦は、後半残り1分で同点となるシーソーゲームとなった。残り30秒名城大、奥村が決めて決勝へと駒を進めた。大体大対筑波大戦は、筑波大のミスを確実に得点に結び付けた大体大が危気なく勝ち上がった。

名城大は、平成7年に続く、関東、関西以外からの優勝を目指したが、大体大の前におしくも涙のんだ。



《女子の部》



筑波大が16年ぶり3回目の優勝

第34回高松宮杯女子全日本学生ハンドボール選手権大会は、男子選手権と同会場、同期日で行われた。

優勝杯は、西日本1位の大体大を破って進出してきた、昨年の覇者東女体大を下した筑波大が獲得した。筑波大は、16年ぶり3回目の優勝であった。

大会初日は、1回戦8試合が行われた。過去16回の最多優勝回数誇る日体大が、地元中京大に12-19で敗れ、この1回戦で姿を消した。

2回戦に入ると、好ゲームが続出した。国士館大対龍谷大の一戦は、終盤龍谷大が盛り返し、延長に突入する熱戦となった。延長後半、残り43秒で龍谷大、谷崎が勝ち越し点をあげ、3回戦へ勝ち上がった。続く、中京大対福岡大戦は、中京大が後半逆転をし、1点差で福岡大を下して勝ち上がった。

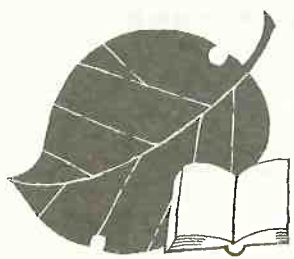
3回戦は、大阪体育大と茨城大の一戦が好ゲームとなった。大体大は、西日本、秋のリーグと好調を維持し、今大会でも優勝候補に挙げられた強豪でもある。一方の茨城大は、東日本の成績はいま一つながらも、秋の関東リーグで初の2位に躍進するなど、好調なチ

ーム。この好調さを示すように、前半13-11で、茨城大がリードで折り返したが、地方にまさる大体大が、後半開始早々から猛攻を見せ、逆転で茨城大を振り切った。

準決勝は、筑波大対中京大、大体大対東女体大の対戦となった。筑波大は貫禄で、中京大を一蹴した。大体大対東女体大は、序盤大体大が着実に得点を重ね、11分には7-3とリードを奪った。しかし、6連覇をねらう東女体大も、エース板谷がふんばり26分には逆転に成功する。後半に入って、東女体大の多彩な攻めと固いディフェンスで、大体大につけ入るスキを与えず決勝へと進んだ。

決勝戦では、筑波大がセンター山田の13得点という活躍で、東女体大を破った。

なお、男女優勝チームには荒川清美杯が授与された。



男子

本命は本田技研！

実力伯仲を制するのはどこか

女子

イズミの連覇か

オムロンの逆襲成るか

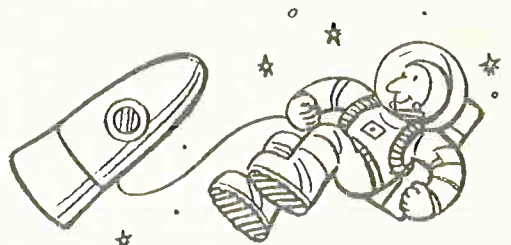
昭和25年1月愛知県一宮市を会場に始まった全日本総合選手権大会も今回で第50回を迎える。記念すべき今大会は兵庫県協会創立50周年記念大会として12月23日〜26日まで、神戸市の神戸グリーンアリーナを会場に行われる。昨年は女子世界選手権大会のため男女分散開催となったが、今大会は男女そろっての大会となり、記念大会にふさわしい華やかで、熱気あふれる大会となることを期待する。今大会より、全日本総合推薦方式の変更されたこともあり、1回戦から好ゲームとなるであろう。また、長い全日本総合選手権大会の歴史において初の女性レフェリーの登場も楽しみである。

11月6日現在では、組み合わせが決まっておらず、また全日本学生選手権大会前であり全日本学生連代表が決まっていないが、日本リーグを中心に優勝の行方を追ってみる。

【男子】

男子の部の出場チームは、日本リーグ8チーム、全日本学連2チーム、ジャパンオープン2チーム、日本協会推薦4チームの合計16チームが参加する。このうちすでにわかっている出場チームは、日本リーグより湧永製薬、本田技

そこに大同特殊鋼がいるから。
ほら、ね。宇宙の夢もどんどん近くなる。



私たちは、航空宇宙や自動車、
エレクトロニクス、エンジニアリングなど、
さまざまな分野で未来を拓いています。

 **大同特殊鋼**
DAIDO STEEL

本社 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目11-18 (興銀ビル)
東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7-13 (大同ビル)
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目1-1 (興銀ビル)

研、大同特殊鋼、中村荷役、三陽商会、日新製鋼、OSAKI OSOL、トヨタ車体、ジャパンオープンから香川クラブ、福島クラブ、日本協会推薦から北陸電力、本田技研熊本、デンソー、アラコ九州で、全日本学連代表2チームは11月22日に決定する。

日本リーグは3節が終わった時点ですでに全勝が無く混戦模様である。その中でも、やはりストックラン、ヴォルのフランス代表が新加入した本田技研に注目したい。

本田技研はリーグ初戦をまさかの敗戦でスタートしたが、その後は立ち直りを見せて着実に勝ちを収め安定感を見せ、全日本総合においても中心的存在になると思われる。それを追う湧永製薬、大同特殊鋼がどれだけ本田技研を苦しめるか

にも注目したい。また、リーグにおいてなかなか本調子でない中村荷役も昨年チャンピオンの意地で戦いに臨むものと思われる。また、リーグ初戦で本田技研を破り意気の高がる三陽商会の戦いも見逃せない。

ジャパンオープン勢では、香川クラブは第43回(当時は香川教員)からの連続8年出場で、47、48回大会では日本リーグ1部を破る実績があり今大会での活躍が期待される。

学生では、関東の筑波大学と、関西の大阪体大がリードしている様ではあるが、中大、早稲田、日体大なども力があり混戦模様で、どかが勝ち上がり代表となってもおかしくない。ここ数年全日本総合選手権大会においては学生に元気

が見られず残念である。大学選手権チャンピオンになったことに満足せず、学生代表として日本リーグ勢にどこまで肉薄できるかチャレンジする事を期待したい。

日本協会推薦の4チームは全て日本リーグ2部のチームであり1部昇格へ向けての試金石として、一発勝負に出、台風の目となることを期待したい。

【女子】

女子部の出場チームは、日本リーグ8チーム、全日本学連2チーム、ジャパンオープン2チーム、日本協会推薦2チームの合計14チームが参加する。このうちすでにわかっている出場チームは、日本リーグよりオムロン、北国銀行、日立栃木、イズミ、OSAKI OSOL、大和銀行、立山アルミ、シャトレーゼ、ジャパンオープンから徳山クラブ、熊本クラブ、日本協会推薦からジャスコ、ブラザーで、全日本学連代表2チームは11月22日に決定する。

日本リーグは3節が終わった時点で男子同様全勝チームが無くなり、イズミ、オムロン、立山アルミが3勝1敗で並ぶ混戦模様である。イズミは前回優勝に続き連覇をかけ、オムロンは昨年本命視されたながら準々決勝で敗れ去った汚

名を晴らすため激しい戦いが予想される。立山アルミは2回目出場の前年ベスト4に入るなど成長株であり、リーグで今ひとつ波に乗れないOSAKI OSOL、昨年準優勝と古豪復活の期待がかかる。

ジャパンオープン勢では、徳山クラブは日本リーグや学生のOGを中心とした実力のあるチームで、クラブチームとして日本リーグにどこまで迫り、さらには勝利を収められるかに注目したい。

学生では、インカレでは関東の筑波大学と、関西の大阪体大の一騎打ちが予想される。しかしながらどこに伏兵が隠れているかわからないのが学生大会の興味でもある。関東秋季リーグで不覚をとった東京女子体育大学も昨年の学生チャンピオンの意地で全日本総合への出場権に意欲を燃やしているものと思われる。学生は48回大会で東京女子体大がベスト4に入った実績もあり、代表チームは大学選手権チャンピオンになったことに満足せず、学生代表として日本リーグを打ち破るため、引退気分にならず全力を尽くしてもらいたい。

日本協会推薦の2チームのジャスコ、ブラザーも現在は日本リーグ2部に甘んじているが、名門の意地で臨んでもらいたい。

選手・ファン交流会が今年も開催

(全日本総合選手権大会第3・4日に)



第50回全日本総合ハンドボール選手権大会は12月23日(水)から兵庫県・神戸市のグリーンアリーナ神戸で開催されるが、日本ハンドボール協会は大会第3日目の25日(金)に「ハンドボールフェスタ'98」(98年選手とファンの交流会)を行う。

この企画は昨年(男子・東京大会)同様、準決勝の試合が終了後、両チームの選手がそのままフロアの一隅でファンと交流しようとするもの。

交流会では昨年大好評だった選手と一緒にビデオカメラで撮影し、その場でシールにするサービスが今年も行われる。また、全日本のユニフォームも展示され、ファンはこれを着込んで一流選手とツーショットの写真も撮れる。もちろん、選手の手形入りサイン色紙や各選手のトレーニング法や技術的な問題、将来の抱負なども聞くことができるというファンにとっては大変うれしい企画だ。

この交流会は一昨年、昨年につき3回目となるが、(財)日本ハンドボール協会が主催、全日本総合選手権大会実行委員会が主管、(財)大崎企業スポーツ事業研究助成財団が企画・後援する。

写真は昨年の交流会の様様です

故荒川清美名誉顧問を 偲ぶ会を開催

先頃お亡くなりになりました、故荒川清美日本ハンドボール協会名誉顧問を偲ぶ会が、11月8日(日)に京王プラザホテルで、北は北海道、南は九州からと全国各地から多数の出席者を集め、盛大に行われました。

偲ぶ会は、黙禱、献花の後、日本協会の大野金一監事より献杯がなされました。その後、元NHKスポーツセンター長の杉山茂氏より荒川名誉顧問の数々の業績や、エピソードが披露されました。続いて、元日本協会監事松本重雄氏、日本体育大学北川勇喜氏、湧永製菓草井由博氏、元海軍旧友河野一英氏、前大阪協会会長神田清氏などから、故人の人となりを紹介されました。

会の終わりに当たり、荒川家からのご厚志の拝受とその取り扱いについて、日本協会山下理事より報告がなされ、続いて、故荒川名誉顧問が特に縁の深かった学生界への荒川清美杯の作成の報告と、

全日本学生連盟への授与が行われました。

最後に日本協会渡邊副会長の挨拶があり、閉会となりました。

【故荒川清美氏 燦爛たる足跡】
1920・8・24～1998・9・18 (享年78才)
日本体育大学教授・名誉教授

「正五位」(1998・9)、「勲三等瑞宝章」(1991・11)、「国際オリンピック委員会オーダール」(1995・6) 受賞

◇日本ハンドボール協会
1950 常務理事
1963 全日本学生連盟理事
1967 理事長
(1981・財団法人 専務理事) 通算8期16年

1983 副会長
1992 顧問
1998 名誉顧問

◇日本体育協会
1967 国体委員



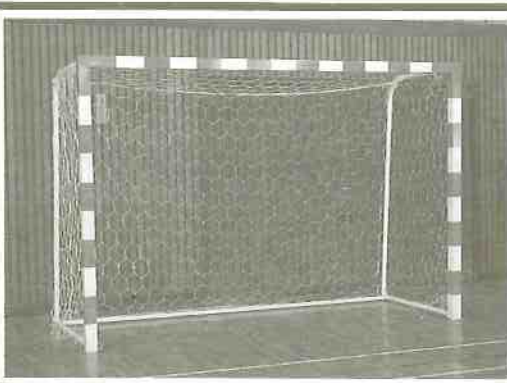
1973 理事
1975 参与
1975 評議員
◇日本スポーツ少年団(本部)
— 日本体育協会事業 —
1973 常任委員
1979 副本部長 通算6期



◇アジアハンドボール連盟
1980 理事 通算4期16年

◇文部省
1960 学習指導要項作成協力者会議委員
1973 青少年運動競技中央連絡協議会委員

12年
日獨・日中交流団長など多数
◇日本オリンピック委員会
(旧制度時代含む)
1960 東京オリンピック選手強化対策本部委員
1973 委員
1975 常任委員
1991 名誉顧問



DJ1021 ハンドボール用ゴール 折畳み式 (網)¥361,000
●高さ2080 幅3160 奥行1300mm 重量60kg 床止め金具・打込み杭付 ネット別
●クロスバー、ポストはアルミパイプ製80角で方杖はφ40です。

Senoh®
セノ一株式会社
本社 / 東京都品川区南品川2-2-13
☎(03)5461-4111

ANA CARD

ANAカードなら、旅の応援機能満載。
マイレージの楽しさも大きく広がります。

空港でも余裕の
チェックイン

出張先でのショッピングも
バックアップ

旅の安心。
保険もサポート

ホテルのご利用も
おトク倍増

航空券ご予約が、
スムーズアップ

ショッピングでマイルを貯めるならやっぱりANAカード!

お買物やお食事でもカードでしっかり貯めやすい
クレジット会社のポイントを100円=1マイルで貯められます。

一度で2倍貯まる「ショッピングアルファ」も充実
下記のお支払い内容なら、100円=1マイルを自動的に加算。
クレジット会社のポイントによるマイルと合わせて、100円=2マイル
になるうれしいサービスです。

■対象商品・店舗

●国内全日空各支店、空港カウンターでの航空券のお求め、および機内販売 ●高島屋 ●日本石油SS ●出光SS



さらにボーナスマイルで貯めやすさがアップ!
飛ぶたびに基本マイレージの15% (ワイドカードの場合。一般カード
は5%)のボーナスマイル。また、毎年初めてのご搭乗時に3,000マイル
(ワイドカードの場合。一般カードは1,000マイル)のボーナスマイルで
おトクに貯まります。

今なら、一般カード初年度年会費
無料サービス中です



今日からマイルが
貯められる
インスタントカード付き

お問い合わせ、入会申込書のご請求は、
フリーダイヤル ☎0120-029-707 まで
【受付時間】9:30～17:00 (土・日・祝・年末年始を除く)
全日空各支店、空港カウンターにもございます。



マスメディアを活用しよう

企画・広報委員

早川 文司

月日の流れをととても早く感じる。年齢のせいだろうか(とは思いたくないが…)。早くも師走を迎えた。日本リーグが始まったと思ったら、世界選手権東アジア予選、アジア大会とビッグイベントのスケジュールが目白押し。大忙しの年の暮れといえるだろう。アジア大会で有終の美を飾って、新しい年を迎えたいものである。

ハンドボール関係者にとってビッグイベントが続いても、新聞、テレビはあまり関心がないようである。日本リーグにしても記録が隅っこに載っているだけ。一般の読者やテレビの視聴者には、どこが首位なのかもまるっきり分からないのが現状である。以前にもこの欄で取り上げたことがあるが、もっとマスメディアに注目させる“何か”が必要ではないだろうか。

そのためにもアジア大会での優勝、来年のシドニー五輪予選は絶対にもぎとらなければならない大会である。オリンピックに出場するか、しないかでマスメディアの注目度はかなり変わってくるからだ。

日ごろの対応についても、もっとマスメディアを会場に足を運ばせることに頭を絞らなくてはなるまい。一例を日本リーグにとってみよう。

開幕前に参加各チームの監督会見が行われる。この席で各監督の抱負、心意気などを全国に発信できないものだろうか。というのはリーグの本拠地は全国に散

フリースロー Free Throw

らばっている。東京、大阪だけではない。所属する各地のマスメディアへ資料を流してはどうだろうか。むしろハンドボールに関しては、そうしたメディアの方が大きく取り上げるケースが多いからだ。

また、全日本総合選手権などのように、試合後に監督会見の場が設定できないものだろうか。加えて両チームの指名選手をひとりずつ同席させてもいい。マスメディアに顔を売ることが必要だろう。長い時間はいらない。せいぜい双方で15分もあれば十分である。戦いの印象、勝敗のポイントなどを話せば事足りると思う。あるいは、記録にしてもデータ・センターのような所に集め、一括送信のサービスを行ってはどうだろうか。

黙っていても現状維持が精一杯だろう。多少は手をさしのべて、ハンドボールがマスメディアに登場する機会を増やしたいものである。とくに地方のマスメディア活用をもっともっと生かす手だてを考えたいものである。

最強ジャパンのラインナップ。

asics

ダッシュ、ストップ、鋭いステップワークが必要なハンドボールで、最もシューズに求めたい機能はグリップ性能。そこで、今度のジャパンは吸いつくようなグリップ力に加え、濡れたコートやホコリに強いウェットグリップラバーをソールに採用。どの様なコート状態でも思い通りのプレーを可能にします。伝統のジャパンがバージョンアップした。ニッポンが誇れる最強ラインナップの誕生です。



Japan

品名 スカイハンド® ジャパンWG-S NEW
品番 THH713 メーカー希望小売価格 ¥16,500
カラー / (012) ホワイト×ブラック×メタルゴールド
 / (014) ホワイト×ブルー×メタルゴールド
サイズ / 22.5~29.0cm
'97年3月発売予定

品名 スカイハンド® ジャパンWG-L NEW
品番 THH712 メーカー希望小売価格 ¥17,500
カラー / (012) ホワイト×ブラック×メタルゴールド
 / (014) ホワイト×ブルー×メタルゴールド
サイズ / 22.5~29.0cm
'97年3月発売予定

本気なら、アシックス。

株式会社アシックス ●インターネットでシューズの情報を提供しています。http://www.asics.co.jp/

●◎は別アシックスの登録商標です。●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックスお客様相談室までどうぞ。
〒650-0046 神戸市中央区港中町7丁目1番1 TEL(078)303-2233(青鳥) 〒130-0013 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL(03)3624-1814(専用)・(03)3624-2221(次代員)

第23回

日本ハンドボールリーグ

序盤戦を振り返って

(財)日本ハンドボール協会常務理事
日本ハンドボールリーグ運営委員長

山下 泉

10月1日に開幕した日本リーグの序盤戦が終了した。約2ヶ月半の休みをはきんで、来年1月9日に再スタートする。序盤戦の各チームの戦い振りを振り返ってみよう。

10月1日に開幕した日本リーグの序盤戦が終了した。約2ヶ月半の休みをはきんで、来年1月9日に再スタートする。序盤戦の各チームの戦い振りを振り返ってみよう。

第3週終了時点で各チームが4試合を消化、早くも全勝チームがなくなり、勝ち点2(勝ち星1つ)の中に6チームがひしめき合う大混戦となっている。

本田技研と同じ勝ち点6で、ケガで戦列を離れていた趙が復帰した中村荷役が並走、これを本田技研に快勝した三陽商会、昨年の覇

「1部男子」

10月18日に予定していた大和銀

者・湧永製薬、韓国の大砲・朴が加入した大同特殊鋼が勝ち点1差で追っている。また、大崎電気オースルもさらに1差で追走する、まさに予断を許さない展開となっており、一戦々々目が離せない。また、今年から1部に返り咲いたトヨタ車体も、大崎電気オースルと引き分けて勝ち点1を上げたリ、エース・清水が得点ランキング1位に躍り出るなど、上昇ムード一杯である。

残念なのは未だ勝ち星に恵まれず最下位に低迷している日新製鋼。ベテランが多いだけに試合の進め方には定評があるため、これからの巻き返しに期待がかかる。

大崎電気オースルは2勝2敗の五分で、今後に期待がかかるし、開幕から3連敗で心配された日立栃木も全勝のイズミに土を付けるなど、上昇ムード一杯。

逆に苦しい戦いを強いられ続けているのが、大和銀行、シャトレレーゼ。大敗するケースが見られ、何とか浮上のきっかけをつかみたいところである。

「2部男子」

今年から10チームに拡大枠となつた男子2部。チーム増に伴い、東西各デヴィジョン5チームづつに分け、2回総当たり戦と、異

なるデヴィジョンとの1回総当たり戦を行うという変則リーグ戦を試みている。さらに、各デヴィジョンの1位(2チーム)と残り10チームの上位2チーム(ワイルドカード)でプレーオフを行い、最終順位を決定する。

この結果、上位2チームが1部との入れ替え戦に臨むという険しい道なのであるが、近年1部との自動入れ替えで昇格したチームがなかなか1部に定着しない、という問題を解消する手段として、期待を寄せている。

イースト・デヴィジョンではデンソーが、ウエスト・デヴィジョンではケー・エフ・シーと本田技研熊本が、それぞれ4戦4勝と好調な出だしである。しかし、組み合わせの関係で、これ以外のチームにも十分チャンスはある。

「2部女子」

参加チームが4チームと寂しい女子2部だが、試合の方は接戦が続いている。現時点ではブラザー工業が3戦3勝と頭一つリードしているが、昨年1部のジャスコ、そのジャスコと引き分けたソニー国分も、十分に射程距離内である。ムネカタは今後の巻き返しに期待したい。

(写真提供: JHL運営委員会・木内兵太郎)



ストックラン (本田技研)

「1部男子」
今リーグの目玉は、何と云っても本田技研に移籍したストックラン、ヴォルの両フランス人選手が、日本リーグでお目見えする点だ。世界のスーパースター2人のプレーを日本各地で見られることは、競技の普及・発展という観点からも非常に高い意義を持っていると思う。予想に違わず、ストックランはフィールドゴールで1位、ヴォルも要所々々で鋭いパスやシュートを繰り出すなど、大活躍を見せている。チームも緒戦の三陽商会戦で苦杯を喫したものの、現時点で首位に躍進、昨年惜しくも逃し

"不況を乗り切れ"日本リーグ

(財)日本ハンドボール協会常務理事 山下 泉
日本ハンドボールリーグ運営委員長



今年から、日本ハンドボールリーグ機構を新設し、リーグ運営委員会を支援する組織改革をしました。目まぐるしい環境、社会構造の変化、急激な国際化に対応する為に日本協会あげての運営、そして企業チーム経営者の参加のもと「日本リーグ」を統括する組織が「日本リーグ機構」です。機構とは仕事をする為の組織、改革する為の組織である。当然、仕事をす

る為には人、物、金が必要である。不況を乗り切る為にハンドボール界挙げての支援体制を期待し、出来ることは全部やるほどの気概を持って対応したい。まずチーム関係者にとり大切なことは、企業がチームを所有している意義や目的を再確認し、企業の理念に添って経営者サイドに常にアピールするものを持つこと。次にホームゲームで地元の支援が得られているかどうか。企業スポーツは市民の中のスポーツとして受け入れなければ生き残れない。それには観客動員をしっかりとすることである。地域のファン、企業の社員、従業員組合、出入取引業者等で構成する後援会組織を結成し、地域に根ざしたチームでなくてはならない。

日本リーグ機構について

この様な経済環境下でのリーグ運営を考えると責任の重大さを痛感せざるを得ない。とにかくこの

熊本男子世界選手権を実行する為に約4年前に「オーナー会議」を発足し、強化対策を中心に支援を頂きましたが、そのオーナー会議に準ずる組織と位置付け「日本リーグ部長会議」を結成し、第1回の会議を7月11日に開催した。次に財務、強化、国際企画等の担当を決め、企業のもっている経営能力、企画力を提供して頂き、日本リーグの活性化に向けてご指導頂くことを期待している。決して

資金目当てで部長会議をもつたのではなく、少ない財源をより有効に活用し、最大の効果を出す為に「リーグという仕事をする組織」に積極的に参加して頂くことを目的としている。

リーグのリストラ対策

去る10月31日の運営委員会で第23回プレレオフ大会（11年3月20日、21日駒沢体育館）の実行予算を10%カットすること。そして第24回リーグの大会予算も10%（対前年比）の削減を協議決定した。

分を占める旅費、宿泊費については既に「ホテル指定制度」、「ANAとの提携」等実施していますが更に次の提案をしたい。



これまでにチームの運営費の大部分を占める旅費、宿泊費については既に「ホテル指定制度」、「ANAとの提携」等実施していますが更に次の提案をしたい。

- (1) 遠征費の削減、選手の帯同人員は16名とする。
- (2) 平日開催をやめ、土、日の2日間4チーム集結し、2試合を消化する。フェスティバル大会としてファンサービスや観客動員が期待出来、併せて宿泊費、交通費の削減が可能である。
- (3) 広告ボードのサイズ統一
日本リーグ、全日本総合、実業団大会、国際試合等各地の開催地でその都度、広告ボードを作っているが製作費が高く実質収入が少ない。規格を90cm×360cmに統一し、広告文字は厚手のビニールで作り、巻いて移動することにより現場では張りつけるだけに。運営経費に廻る率が高くなる。
- (4) ユニホームにスポンサーを
日本はヨーロッパなどに比べ遅れている。熊本の男子世界選手権やドイツの女子世界選手権を見てユニホームだけでなくパンツまで広告が入っている。現行の日本

第6回アジア男子ジュニア選手権大会参加所見

テクニカル・コミニティー技術委員として

西山逸成(AHF/MC委員)

エンスの設置の承認は、観客スタンドからの侵入防護の目的(2人
人梯で容易に侵入可能)、⑩緊急事
態時の試合日程及び時刻の変更
本大会時に技術委員会が定例会議
以外に臨時に実施した主要問題は
次のとおりである。

(その1)レフェリー割り当て

の強制変更 9月5日早朝の定例
の技術委員会ではA・Bグループ
の予選リーグ結果にもとづき9月
5日の準決勝2試合の役員を選定
した。衆目の試合評価ナンバー1
のバレーン対クウェート戦を本
大会BIG2(ジャパン・クロア
チア)の何れかにレフェリングさ
せるかはレフェリー群や各国選手
団にとっては関心事であったのだ
ろう。テクニカルミーツイングル
ーム前ロビーはいつになく関係者
で一杯であった。レフェリーは後
藤・清水ペア(日本)、控えレフェ
リー(カタール)、第2試合のサウ
ジアラビア(KSA)対中国戦は
アラブ首長国連邦(UAE)、控え
はクロアチア組と通告された。日
本ペアは16時30分試合開始にそな
えてオフイシャル調整とウォーミ
ングアップを終了していた。その
スローオフ5分前に、テクニカル
メンバー(PRC)から日本とU
AEとのレフェリー交代が通告さ
れた。交代理由はAHF会長(O
CA)アジアオリンピック委員会

標記大会にアジアハンドボール
連盟(AHF)からの技術委員
technical memberとしての要請
により8月24日から9月8日まで
の期間バレーン国(BAHRA
IN)のAl-Jafairのユース・スポ
ーツ・ホールの大会に参加した。

1 技術委員会編成

①委員長 Mr. Syad Abul
Hassan・AHF専務理事・パキス
タン(写真①)、②李之文・PRC
/AHF・中国、③西山逸成・M
C/AHF・日本、④Mr. Bader
Al-Diyab・AHF常務理事・クウ
ウェート、⑤Mr. Ebrahim Mausea・
COCC/AHF・カタール、⑥Mr.
Jalali Asad・AHF役員・CMC
/AHF・バレーン、⑦Dr.
Ahmed Abu Al-Jaili・AHF常務
理事・クウェート、の7名により
会議や競技が管理された。ただし
試合時のオブザーバーにはMr.

2 技術委員会の職務

AHF競技開催規則第3項を準
用するもので、概要は次の内容で
ある。

①選手権大会の監督、②試合レ
フェリーの割り当て 毎日午後試
合開始2〜3時間前に担当レフェ
リーのみに通告(表1・大会成績
・役員担当表)、③罰則に沿った罰
則の決定と違反の報告、④試合結
果の承認、⑤レフェリーの評価・
報告書の作成、⑥大会報告、⑦試
合のオブザーバーの指名(写真②)
 毎日2名を審議選定した、⑧選
手登録・IDカードのパスポート
による照合・承認 大会初日UA
E対QAT戦で、両チームともに
20歳制限年月(世界選手権大会時



①役員席で(AHF専務理事Mr. HASSANと共に)

に20歳未満)をオーバーした選手
を参加させていたことが試合終了
後発覚した。したがって技術委員
会で改めて参加全選手をパスポー
トと照合チェックを実施した。そ
の際さらにサウジアラビア(KS
A)にも制限年齢を越えた選手を
確認したので当然試合エントリー
から除外した。UAE対QAT戦

は技術委員会で再試合(大会休日
日・9月4日)を決定し、両チ
ム選手団長に対し個別に通告し、
再試合を大会休日予定の9月4日
(両チームからは技術委員会の初
度チェック不備とし、納得調整に
2日間を要した)に実施した。⑨
競技会場・設備・用具の規則にも
とづく承認 コート周辺に3米フ



②オブザーバーとして：オマーンペア記録席と共に

会長（クウェート協会会長）から技術委員長への直接指示『ジャパンとクローアアを降板し、アラビックレフェリーで実施せよ』（会長は4日にバーレーン入国）によるものであった。試合開始1時間前ではあったが、直ちに技術委員会が召集され15時から16時まで対応が論議された。対応内容は会長指示を討議する性格の内容ではなくて、日本ペアをどのペアと交代させるかという限定内容に終始した。筆者が2週間の大会期間中で技術委員会席上でたった一度だけ「Why?」と語気強く質問したのはこの時のみであった。返答は「N

o why?」これがかねてから噂に聞いていたAHFの体質かと残念ながら実感した。翌日の新聞3紙（付紙1）ともAHF会長への誹謗と後藤・清水ペアへの同情を写真掲載（兩名は2回目）で評していた。折角前日深夜に技術委員のMr. H氏とMr. U氏と筆者の3人でバーレーン対クウェート戦の最適レフェリーについて調整したペアが水泡に帰して切歯ヤクワンした次第である。

（その2）試合中断（9月5日順位決定第21試合（日本ペア予定であった）BRN対KUW戦、前半開始12分後にKUWベンチと観客スタンドとのフェンス越しの暴力事件（付紙2）が生じたので、技術委員会はBRN対KUW戦を中断とし、当夜の22試合（KSA対中国戦）をも中止とした。この

ハプニングによって発生した問題の9月6日副会長（UAE）議長の技術委員会結論は次のとおりである。
ア、再試合は翌日の9月6日に、

يره بحسبها للبريز عن الساعات الحرجة بعد احداث «الصالة»

كويتي على الطاقم الكرواتي «المشبه» وابعاد الطاقم الياباني
لة اعطت صورة غير حقيقية عبر «الجوال».. واشترط الفيديو كشفت الحقيقة

إلقاء مباريات السعودية والصين والكويت والبحرين أمس
سيناريو غريب (يعطل) بطولة اليد الآسيوية

في الرياض، 6 أيلول 2005
تعد بطولة اليد الآسيوية من أهم البطولات التي تقام في المنطقة، وتحتضنها الرياض في هذا العام. وقد شهدت المباراة التي أقيمت بين المنتخب السعودي والمنتخب الصيني، أحداثاً مثيرة، خاصة بعد أن قام الطاقم الياباني بإبعاد الطاقم الكرواتي المشبه، مما أثار غضب المشاهدين. وقد تم الكشف عن حقيقة ما حدث عبر الفيديو، حيث أظهرت الصورة أن الطاقم الياباني قد قام بعمليات غير لائقة، مما دفع إلى إيقافهم مؤقتاً. كما تم اشتراط الفيديو كدليل على ما حدث، مما كشف الحقيقة عن الموقف.



قصاصة الرياضية

الطاقم الياباني.. خرج ولم يعد

付紙 1

勝利の為に 明日私達が役立ちます

AMOK ENTERPRISE CO., LTD.

合い言葉は まごころ

国内合宿・海外遠征からご家族の旅行まで
なにからなにまで手配致します。

株式会社 エモック・エンタープライズ
運輸大臣登録一般旅行業第1144号
〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-4 Y-Kビル1F
TEL : 03-3507-9777 FAX : 03-3507-9771
一般旅行業取扱主任者 佐々木雅之

当初計画の24試合オマーン対韓国戦のあとに21、22の再試合を決定し、4チームに通告したが、最終日のコンデイショニングの不公平等の理由で同意が得られなかった。したがって大会期間を1日延期し、9月7日に準決勝(21、22)、9月8日に1・2位、3・4位順位戦を決定したわけである。

3 現行HF規則を 変更できないか?

通常の競技時間の長さが70分間で終了せず、大会管理やチームコンデイショニングに支障を来していることは衆目の評するところで、選手の転倒やアンフェアな行為(選手・役員・観客)による中断で著しく試合引いては大会に影響を及ぼしている。とくに転倒時には、タイムアウトの活用を意図していると思定される場面が多い。サッカー競技のように転倒プレイヤーは直ちに場外搬送処置限秒制で願いたいものである。

4 日本選手団へのエール

筆者は大会期間中、日本協会(専務理事宛)に成績連絡・AHFの大会運営体質・日本チームの総評等を2度送信したが、そのうち日本チームへの率直な所見だけを紹介する。

③ 準決勝(バレーン対クウェート戦)



バレーンの4試合でみた日本ジュニアチームは、出発前大崎電機体育館でみた素晴らしいチームとはとても考えられない程ボトムコンデイションではなかったのだろうか?

第1試合10日前に出発したので、監督が抱負(機関誌No.388)とした①予測できることのすべてを伝達・指導・調整する、②選手の体調と環境への順応を考慮する、③万全の状態で大大会に挑む、ことの実態がうまく合成できなかったのではと同情してみたものの、ついで次のような送信や便りをしてしまった次第である。

連日40度以上—大会案内の日中気温摂氏30〜36度とは10度は異なる—の猛暑のなか、ときによると

体育館内は結露現象でトラフレックス(写真③)は滑りやすくなる

ときがあるし、連日警察官や軍隊の監視・緊張下で食事もアラビック料理で油多い調理、宿舍の冷房管理も30度水準では食欲不振・下痢等の生理不調現象は止むを得ま

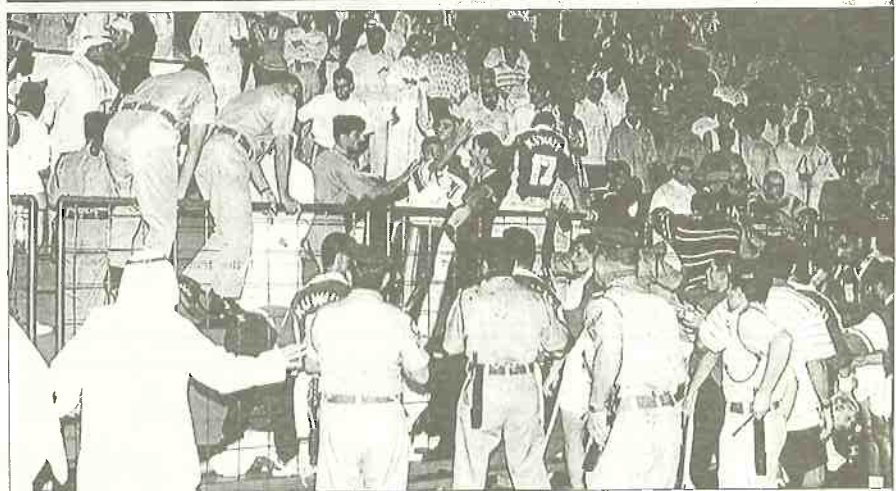
いと考えるが、同宿の優勝バレーンチームと同じ水準であつて欲しいとは考えないが、自己管理能力の向上努力も求めてみたい。一方ゲーム場面での率直な所見は、ボールへの執着、勝ちにいく

Spirit、動きのスピード(スタートダッシュ・ターン・ストップ)とスピードを持続するスタミナにみる基礎体力不足、そしてボールのコントロールの不確かさ等々ナシ

④バレーンのナショナルに4名送出のNo.1スポーツクラブ(2100〜2300)



Asian Junior Handball Championship



FEVER PITCH: Security officers try and restore order at last night's match against Kuwait and Bahrain. Pictures by Abd Ali Qurban

Rioting fans force Bahrain v Kuwait game to be abandoned

付紙 2

ヨナルチーム段階以前の問題点が徹底改善されない限りは、アジアとくにアラビックジュニアには格段のハンデを背負っていると認識した方がよい。その一つとして「セービングは相手に危険を与えなければ、身を挺して床面のボールを確保できる」ことを武器として果

敢なプレーが意識に先行するよう体得しては…とも歯ぎしりしてみる。

バレーンには17のスポーツクラブで5歳からハンドボールの選手養成を実施しており、本大会出場のパレーンJrチームでは各クラブから選出されている(写真

表1 ASIAN NEW Jr CHAMPIONSHIP(98・8/25～9/8)大会成績・役員担当状況

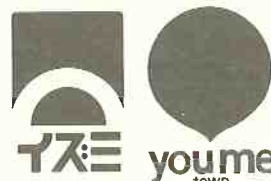
月日	時間	No	試合	GP	レフリー	オブザーバー	
8/25		1	OMN 26 : 29 BRN	A	JPN	Khalaf	Ibrahim
		(2)	UAE 無効試合 QAT	A	KUW	Lie	Aldiab
8/26		3	TPE 30 : 30 KUW	B	QAT	Lie	Jalil
		4	KSA 29 : 22 KOR	B	CRO	Khalaf	西山
8/27	(予選リーグ)	5	UAE 19 : 33 CHN	A	JPN	Ibrahim	Aldiab
		6	QAT 24 : 25 BRN	A	CRO	Lie	西山
8/28		7	JPN 27 : 29 KOR	B	BRN	Khalaf	Abu-Lail
		8	TPE 22 : 28 KSA	B	CHN	Lie	Abu-Lail
8/29		9	QAT 26 : 27 OMN	A	KSA	Lie	西山
		10	BRN 28 : 26 CHN	A	KUW	Ibrahim	Abu-Lail
8/30		11	KUW 17 : 20 KSA	B	OMN	Lie	Jalil
		12	JPN 28 : 35 TPE	B	UAE	Lie	Ibrahim
8/31		13	CHN 29 : 22 QAT	A	JPN	Aldiyab	Jalil
		14	OMN 27 : 26 UAE	A	KSA	Lie	Abu-Lail
9/1		15	KOR 37 : 28 TPE	B	UAE	Jalil	西山
		16	KUW 24 : 20 JPN	B	CRO	Lie	Ibrahim
9/2		17	BRN 25 : 22 UAE	A	KSA	Lie	Abu-Lail
		18	CHN 36 : 32 OMN	A	CRO	Jalil	Aldiab
9/3		19	KSA 25 : 21 JPN	B	QAT	Lie	Abulail
		20	KOR 20 : 29 KUW	B	CRO	Jalil	西山
9/4		2	LIAE 37 : 30 QAT	(A)	BRN	Lie	西山
9/5	A-1・B-2	(21)	BRN 再試合 KUW		UAE	Lie	Ibrahim
	B-1・A-2	(22)	KSA 延期 CHN		QAT	Jalil	Abulail
9/6	A-3・B-3	23	OMN 36 : 43 KOR		CHN	Lie	西山
	A-4・B-4	(24)	UAE 辞退 TPE				
9/7	A-1・B-2	21	BRN 24 : 20 KUW		UAE	Lie	Ibrahim
	B-1・A-2	22	KSA 23 : 18 CHN		QAT	Jalil	Abulail
9/8	3・4位	25	CHN 20 : 23 KUW		KSA	Jalil	西山
	1・2位	26	BRN 25 : 20 KSA		UAE	Lie	Abulail

④。
ボールの傍観的プレーがあつては
チームゲームは成立しない筈とも
自分を鞭打つてみる次第である。

現状水準のジュニアでは、今のナ
ショナルは勝つても明日のナショ
ナルはアジアに君臨することは至
難のことであろう。

日本がアジアで勝つためには、絶
対的に高い競技力をもつ選手作
りが原点である。然る後に日本ハ
ンドボール協会がA H F組織の

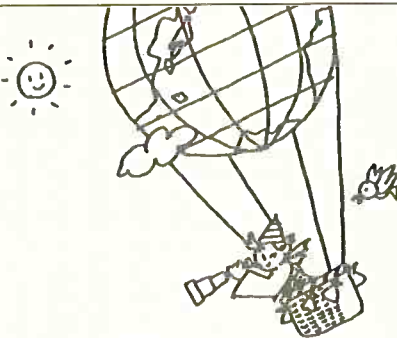
リードオフマンとして各国に現状
以上の発言権を持ち得よう。



イスマ youme town

本社 / 〒732-0828 広島市南区京橋町2-22
TEL082(264)3211

おいしい発見。あたたかい発見。
おしゃべりな発見。
あなたの毎日を新しくする。
そんな素敵な発見の場でありたい。
毎日が新しいイブです。



「まいにち、
発見。」

平成11年・協会創立50周年 そしてインターハイ開催

岩手県ハンドボール協会理事長 谷藤勝美



岩手県協会の歴史

本県にハンドボール競技が導入されたのは昭和24年4月、箱崎敬吉氏（現協会長）が盛岡高校に赴任したことに始まります。まもなく盛岡高校（現盛岡一高）、一関高校（現一関一高）、岩手高校にチームが誕生します。この年の9月に開催された第1回岩手県民体育大会直前に、正式競技として実施するため関係者有志が発起し、9月1日に本協会が設立されました。以来、本協会は着実な躍進を続けています。現在、中学・高校・一般合わせて108チーム、2300人の登録者を数え、審判員育成にも力を入れ、A級14名を含む、B、C級49名を登録するなど、すべての分野において充実期を迎えています。

過去の実績

昭和41年岩手・青森・秋田3県合同開催のインターハイ、44年国体リハーサル大会としての全日本総合選手権大会、45年岩手国体、42、48年国際親善大会、49年全日本実業団選手権大会、57年東日本学生選手権大会、各種東北ブロック大会を開催し、日本リーグは第4回大会を始めとして第10回大会以降本年度まで連続開催をしています。

競技面での全国大会3位以上の戦績は、インターハイで盛岡一高が昭和36年3位をはじめ、女子の花巻南高が41年2位、翌42年は悲願の初優勝を果たしました。さらに、平成5年の選抜大会では盛岡二高が3位になりました。国民体育大会に於いては、盛岡一高が昭和26年3位、36年2位、花巻南高が42年2位、45年地元岩手国体で少年男子・岩手教員が3位に入賞しました。全国高専では、一関高専が50年2位、51年に優勝、54年2位、58年3位を記録しています。このような戦績の中で、日の丸をつけ日本代表として、北村尚英（第5回世界選手権大会）、山田帆波（第2回世界女子選手権大会）、菊池悟（モントリオール）、首藤信一（ソウル）等を輩出し、それぞれに活躍しました。

最近の状況

平成11年岩手インターハイに係わり、中高一貫した強化策が実り始め、ここ数年全国中学校大会、JOCジュニアオリンピックにブロック代表として男女ともに全国に駒を進めることに成功しています。高校は、韓国遠征（高体連事業）、アドバイザリーコーチ招聘事業、県外遠征等で力をつけており、競技力はインターハイ・国体ベスト8の力を有するほどにアップし

ています。しかし、全国ベスト4の壁は厚く、これを打ち破るには、この先相当の努力が必要と思われる。成年に関しては、年間を通じて社会人リーグ戦を行い、県内チャンピオンシップ（一部）とハンドボールが飯より好きという（一部）大会が開催され、なかなか時間の取れない選手強化の場として、また憩いの場となつています。今年8月下旬に行われた第25回東北総合体育大会（国体プロック予選会）では、少年男女・成年男子の3種目で優勝、成年女子は3位入賞で全種目国体出場を果たし、県協会史上初めての快挙を成し遂げ、国体での活躍が期待されます。

平成11年

インターハイに向けて

「飛びたとう 岩手の空に 夢はせて」をスローガンに20世紀最後の年に開催される岩手インターハイは、平成11年8月2日から7日まで県盛岡市内体育館で行われます。当初、岩手大学グラウンド（4面）と、それに付属したすぐそばの体育館（2面）で実施予定でした。しかしその後、全国専門部から、何とか体育館で試合をさせたい、会場の確保をお願いしたい旨の話が持ち上がります。この会場問題では右往左往しましたが、県

実行委員会、高校体育連盟、県専門部の努力により6会場の体育館で実施される運びとなりました。ただ、会期の差はあるものの盛岡市内で7競技が実施される関係で、市内への宿泊には無理が生じ、近郊の温泉施設を利用せざるを得ない状況となり、移動に時間のかかる懸念があります。

開催期日まで、残り少ない月日ですが県協会、県高体連専門部と共に選手強化はもちろんのこと、競技役員、補助役員の研修等に最大の努力をし、全国各地から参加される選手、役員の方々に「みちのく岩手に来て本当に良かった」と思い出に残るインターハイとし、全国高等学校ハンドボール専門部50周年に花を添えることが出来るよう全力で務めたいと思います。



国際ハンドボール連盟(IHF)訪問記2

身近になった国際情報

——直接取れるIHF情報——

茨城県立中央高等学校 北村善夫

昨年引き続き、ドイツを中心としたヨーロッパ科学史巡礼旅行に行ってきました(機関誌7月号既報)。2回目ということもあり前回ほどの戸惑いもなく、今回もバゼルでのIHF本部訪問の計画を立てました。昨年は、アポなしで直接押しかけてしまったため迷惑をかけてしまった経緯があり、

今年はそのことについてレポートしたいと思います。

●インターネット

今年はそのことについてレポートしたいと思います。インターネットによる情報公開は全世界的なものとなっており、ハンドボールの世界も例外ではありません。IHF本部には専門の職員が専属していました。アレキサンダー・ジールマン氏です。部屋にはコンピュータが一台あり、それが全世界とつながっており、訪問したときはビデオ紹介のためのタイトル画面をスキヤナーで取っていました。印象的なことは、部屋中がKISSのポスターで埋め尽くされていることです(写真)。

今回の訪問では多少、IHFに對しての予備知識を持っていったおかげで、いろいろなことを聞くことが出来ました。なかでも、I

は全世界のものとなっており、ハンドボールの世界も例外ではありません。IHF本部には専門の職員が専属していました。アレキサンダー・ジールマン氏です。部屋にはコンピュータが一台あり、それが全世界とつながっており、訪問したときはビデオ紹介のためのタイトル画面をスキヤナーで取っていました。印象的なことは、部屋中がKISSのポスターで埋め尽くされていることです(写真)。

んアクセスして欲しいとのことでした。

●ワールドハンドボールマガジン

「ワールドハンドボールマガジン(WHM)」の最新号を頂きました。機関誌で取り上げられている「IHFニュース」の多くもこれから取り上げられています。以前から入手方法が気になっていたので、直接個人でIHFから定期購読できるようです。IHFにFAXで申し込めば、2年間(8冊)で1000スイス・フラン(約9000円)だそうです。内容はIHF・各大陸連盟、世界のスター選手の情報からニュース、技術論、ルール関係やトピックスなどです。写真も豊富で、IHFの公用語であるドイツ語、英語、フラ

ンス語3つの言語で同じ内容が書かれているので語学学習(?)にもなります。

全世界からのFAXは2階の事務室に入ります。インターネットのコンピュータと同様に、この小さなコンピュータが世界とつながっているのかと思うと不思議な気がしました。

●IHFビデオ

IHFの広報活動の1つはビデオの作成だそうです。これらのビデオは直接購入が出来ます。申し込みはFAXで行い、1本当たり平均35スイス・フラン(約3200円)です。今回もお土産に何本のビデオを頂きました。内容は、アトラクタオリピック、女子世界選手権、ジュニア世界選手権などです。熊本で世界のプレーを目の当たりにした者として、世界のプレーが見られるビデオは大変興味のあるものではないでしょうか。今回の訪問を通して感じたことは、情報はこちらからアクセスすれば得られるということでした。しかしやはり問題になるのは言葉の問題で、もっと頑張らねばと思っています。

最後に公務多忙な中、時間を割いていただいたバイクフィールド氏と職員の皆様に感謝したいと思います。



シャンピアホテル名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦2-20-5 ☎052(203)5858代表
●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分

シャンピアホテル大 阪

〒530-0052 大阪市北区南扇町6-23 ☎06(312)5151代表
●交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分
大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大阪駅から扇町まで徒歩12分

設備のご案内 ●ミーティングルーム ●全自動洗濯機・乾燥機設置 ●VHSビデオ設置

●シャンピアホテル赤 坂 ●シャンピアホテル青 山 ●シャンピアホテル防 府

東レエンタープライズ株式会社



興奮をやすらぎに……
シャンピアホテルグループ

★スポーツ団体特別料金制度をご利用ください。



第15回男子世界学生選手権大会 '98・12月27日～1月10日(新ユーゴスラビア)

参加選手団決定

選考経過

1997年5月に全国8学生連盟、日本ハンドボール協会強化委員会の推薦選手50名を第一次選考。その後、97ジャパンカップ、97インカレ、98選考合宿、98ヒロシマ国際、先のロシア遠征を最終選考会として、メンバーを決定した。

大会のエントリーは14名であるが、U-23からは12名を選考し、研修遠征としてU-19チームから別記の7名を帯同、ドイツ・ハンガリーの強化及び調整合宿(試合約10試合予定)でこの中から2名を選考して、最終的にU-23チームの12名及びU-19の2名を加えた14名エントリーで大会に参加する。

第14回男子世界学生選手権大会

福地賢介団長評

で研修選手として帯同した所(当時「ジュニア」・吉井(学連推薦)が、その経験を生かして、チームの中軸として活躍しているため、U-19の中から次回を見据えて、将来の全日本を育てる人材育成を図り、U-19とのジョイント活動として7名を帯同する事となった。

現時点で参加申し込みが確認できたのは、日本・ブラジル・ハンガリー・ラトヴィア・ベルギー・ペラルーシ・トルコ・アルジェリア・クロアチア・キプロス(サイラス)・フランス・ロシア・ナイジェリア・ポルトガル・スロバキア・ウクライナ・グルジア・台湾・開催国であるユーゴスラビアの19ヶ国であるが、これにルー

マニアあたりが参加ではないかと思われる。

抽選結果を見ないと何とも言えないが、第12回大会(ロシア)、第13回大会(トルコ)、第14回大会(ハンガリー)と3大会ともに、オーストリア・ロシア・ハンガリーと優勝国が異なるように学生界の変動を物語っており、各大会共に準決勝リーグ進出国は優勝国とは紙一重、その日の状況如何と言った

実力的には差のないもので、優勝国を占うのは厳しい状況である。前々回(トルコ開催)優勝のロシアは、先のロシア遠征の時に、アレキサンダー会長は『若手育成の立ち遅れがあつて、前回の世界学生では最低の成績であつた。今回は前回大会参加選手中心で再度出場見込みで』との事であり、優勝候補筆頭にあげられる。

前回優勝のハンガリーは、熊本の世界選手権大会の時からナショナルメンバーの新旧入れ替えの時期とされて、前回メンバーはナショナルへの昇格で新メンバーでの参加と思われ、未知数である。

前回、前々回準優勝のトルコが初優勝なるか注目される。2大会連続準優勝であり、若手の育成に熱心であつて、今回も優勝候補の一角に上げられる。

日本は、前回大会で上位進出の原動力となった佐々木・岩本・清水・池辺など大型(190センチ)ディフェンダーの不在で、ヒロシマ国際、ロシア遠征でも守備力不足を露呈していたが、この点の課題のクリアーが上位進出のための大きなカギとなっている。

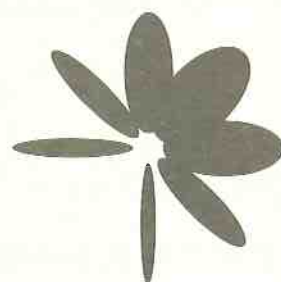
今回のチームの指揮は、ロシア・トルコ・ハンガリーの3大会でコーチを勤めた、経験も豊富な松ヘッドコーチが指揮を取る。アシストするコーチ陣は、ケルン留学中の松井前監督が総合コーチとしてドイツから合流、次代の指導陣の一画を担う玉村・田村両コーチがサポートする体制である。

前回の6位進出の大きな支えになったのが、沖本ドクター・川波トレーナー(濱脇病院)のメデイカルメンバーであった。今回、沖本ドクターの引き続いての参加(川波トレーナーは仕事の都合で

フィールドは
あなたの
ステージです!

大崎電気工業株式会社

東京都品川区東五反田2-2-7 〒141-0022
TEL.03(3443)7171 FAX.03(3447)5844



OSAKI

第15回男子世界学生選手権大会参加選手団

チームリーダー 福地 賢介 (全日本学連理事長・日本協会強化委員)
 ヘッドコーチ 松 喜美夫 (全日本U-23監督・函館大学監督)
 総合コーチ 松井 幸嗣 (全日本学連理事・日本協会強化委員・ケルン大学・C級コーチ)
 コーチ 玉村 健次 (全日本U-23コーチ・湧水製薬株式会社)
 コーチ 田村 修治 (全日本U-23コーチ・東海大学監督・C級コーチ)
 ドクター 沖本 信和 (日本協会医科学委員会・濱脇病院)
 トレーナー 立野 伸一 (日本協会医科学委員会・熊本日赤病院)
 レフェリー 後藤 登 (日本協会審判委員会・国際審判員)
 レフェリー 清水 宣雄 (日本協会審判委員会・国際審判員)
 総務兼通訳 岩崎 みどり (株式会社エモックエンタープライズ)

プレイヤー (U-23) 12名

GK	吉井 丈晴	日本大学	4年	182cm	82kg	東京高校	右
GK	谷川 一寿	福岡大学	4年	184cm	82kg	久工大付	右
CP	所 努	早稲田大学	4年	173cm	64kg	香川中央	右
CP	小藪 憲次	中央大学	4年	176cm	70kg	桃山学院	右
CP	武藤 崇之	早稲田大学	4年	180cm	82kg	盛岡一高	左
CP	下川 真良	大阪体育大学	4年	170cm	65kg	北陽高校	右
CP	小川 友康	筑波大学	4年	177cm	65kg	小松工高	左
CP	永島 英明	大阪体育大学	4年	188cm	80kg	此花高校	右
CP	瓜生 直季	法政大学	4年	189cm	83kg	春日高校	右
CP	古家 雅之	筑波大学	3年	184cm	73kg	桃山学院	右
CP	松林 克明	日本体育大学	3年	181cm	70kg	桃山学院	右
CP	鶴見 拓	日本大学	3年	175cm	64kg	土浦日大	左

帯同研修選手 (U-19) 7名

GK	高木 尚	日本体育大学	2年	189cm	80kg	北陸高校	右
CP	窪小谷 貴浩	日本体育大学	2年	197cm	88kg	学法石川	右
CP	小倉 学	日本体育大学	2年	190cm	84kg	霞ヶ浦高	右
CP	前田 誠一	日本体育大学	1年	183cm	74kg	浦和学院	左
CP	沢田 俊祐	国土館大学	1年	180cm	80kg	明星高校	右
CP	豊田 賢治	国土館大学	1年	180cm	72kg	浦和学院	左
CP	柳本 義文	日本体育大学	1年	170cm	72kg	久工大付	右

日程 1998年12月10日~12月18日 ドイツ強化合宿
 12月18日~12月26日 ハンガリー調整合宿
 12月27日~ 1月10日 本大会及び研修

場所 新ユーゴスラビア国ノビサト市

試合 予選リーグ・準決勝リーグ・順位決定戦方式

松 喜美夫監督評

不参加)があり、立野トレーナーとの新コンビでのメデイカルサポートに期待している。

前回大会での6位を越える事を目標にして、スタッフ一同、大会

参加へ強化を進め上位進出をねらっている。

今回、U-19の研修選手の帯同から2名のエントリー枠を設けるなど新しい試みも行い次回のため、また、さらに、日本協会強化委員会の強化の一貫の流れの中で強化のためにもU-23全日本学生

選抜として、全日本選手に繋がるものを残したいと思っている。

オフエンスは、所を中心に何とかある程度の得点力が見込めるようになってきているものの、ヒロシマ国際・ロシア遠征では、対外人・大型プレイヤーと戦う際の課題であったディフェンスの整備が

ポイントとなっており、この点で何とか強化したいと思っているの

で、ドイツから合流する松井コーチも交えて、スタッフ一同協力して、この点を再整備し、頑張りた

あなたの元気応援します。



- 滋養強壮 ● 虚弱体質
- 肉体疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

医薬品



医薬品



湧永製薬株式会社

お取扱い店のお問合わせは

0120-39-0971

IHFニュース

過去のすべての世界大会の IHFランキング決まる

総合チャンピオンはユーゴスラビア

過去3回にわたって掲載してきたIHFランキングの最後として、総合ランキングが発表された(機関誌では7月号に世界選手権ランキングを掲載)。これは過去から現在にわたっての各国連盟の成績とも言えよう。表では、11人制の世界選手権、オリンピック、7人制の世界選手権、ジュニアの世界選手権について、男女の大会別に得点を示した(ポイント方法は7月号を参照)。

総合結果は、ユーゴスラビアが、ソ連、デンマーク、ルーマニア、スウェーデンやハンガリーを抑えてチャンピオンとなった。しかしながら表中においては、東欧諸国の再編によりソビエトとロシアというように2つの国に分けてポイントされているものもある。これは東西ドイツと、ドイツについても同じである。これらのことを考慮に入れば、異なった結果になったかもしれないことを付け加えておく。

しかしながら、このことはユーゴスラビアの評価を決して下げることとはならない。ユーゴスラビアがハンドボール競技における過

去から現在までの総合チャンピオンの荣誉に輝いたことは素晴らしいことである。

世界選手権大会での日本の順位は男子19位、女子13位であったが、今回の総合順位ではアイスランドと同じ19位と後退している。これは11人制時代のポイントが無いこともあるが、上位国に比べて男子ジュニア、女子のオリンピックのポイントが低いためとも考えられよう。今後の、ナショナルチームのますますの活躍に期待をしたい。

7月号の項でも述べたことであるが、国名が変化したり、新しい国が誕生したりスポーツの世界においても国際情勢が無関係でないことが表から読み取れる。またハンドボール競技はヨーロッパ、特に東欧諸国、スカンジナビアにおいて盛んであることは特筆されよう。

また各国において男女の力の入れ具合が異なっているものももちろん。たとえば、アイスランド、エジプトのように女子の活動が全く行われていない国もあれば、ノルウェー、中国のように女子の活動が盛んな国もある。

社会を豊かに、 おもしろくするオムロン

街や家庭で。私たちは
さまざまな場面での便利さや快適さを考え、
豊かな未来を創造していきます。



オムロン株式会社

本社 〒600-8530 京都市下京区烏丸通七条下ル

東京本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

世界大会の総合順位

		男 子					女 子					総合計
		11人制 世界選手権	オリンピック	7人制 世界選手権	ジュニア	合 計	11人制 世界選手権	オリンピック	7人制 世界選手権	ジュニア	合 計	
1	ユーゴスラビア	11	66	112	130	319	11	42	128	93	274	593
2	ソ 連*	—	73	91	120	284	—	58	99	126	283	567
3	デンマーク	43	30	130	104	307	11	16	111	117	255	562
4	ルーマニア	25	72	129	44	270	32	12	133	73	250	520
5	スウェーデン	67	59	179	111	416	—	—	25	46	72	488
6	ハンガリー	22	63	98	55	238	29	38	144	28	239	477
7	チェコスロバキア*	23	40	121	65	249	13	22	105	32	172	421
8	東ドイツ*	30	50	73	71	224	—	24	85	45	154	378
9	西ドイツ*	30	37	72	50	189	—	27	92	65	184	373
10	ド イ ツ	64	31	76	21	192	27	22	40	25	114	306
11	韓 国	—	29	23	20	72	—	60	52	115	227	299
12	ポーランド	33	28	54	47	162	10	—	80	44	134	296
13	フランス	20	25	72	67	184	22	—	12	65	99	283
14	ノルウェー	—	7	26	30	63	—	40	96	69	205	268
15	スペイン	—	53	61	103	217	—	9	3	16	28	245
16	オーストリア	57	14	17	13	101	40	21	46	22	129	230
17	ス イ ス	89	38	45	21	193	—	—	—	6	6	199
18	ロ シ ア	—	11	43	32	86	—	—	33	38	71	157
19	アイスランド	—	34	53	65	152	—	—	—	—	0	152
19	日 本	—	23	24	10	57	—	11	43	41	95	152
21	アメリカ	8	37	4	3	52	—	38	19	9	66	118
22	中 国	—	—	2	3	5	—	34	22	56	122	117
23	オランダ	37	—	—	6	43	12	—	25	36	73	115
24	エジプト	—	15	24	48	87	—	—	—	—	0	87
25	ブルガリア	—	—	5	—	5	—	—	10	53	63	68
26	クロアチア	—	16	17	6	39	—	—	16	3	19	58
27	アルジェリア	—	22	14	10	46	—	—	2	7	9	55
28	ウクライナ	—	—	—	14	14	—	—	7	19	26	40
29	ポルトガル	—	—	2	24	26	—	—	—	10	10	36
30	ブラジル	—	9	2	8	19	—	—	3	13	16	35
31	カナダ	—	5	—	—	5	—	10	7	8	25	30
32	イタリア	—	—	2	13	15	—	—	—	12	12	27
33	アンゴラ	—	—	—	—	0	—	9	12	5	26	26
34	ナイジェリア	—	—	—	6	6	—	8	—	10	18	24
35	ベラルーシ	—	—	7	3	10	—	—	3	10	13	23
36	チェルジニア	—	3	6	8	17	—	—	4	—	4	21
37	キューバ	—	5	15	—	20	—	—	5	—	0	20
38	アイボリーコースト	—	—	—	—	0	—	8	6	6	19	19
38	チ ェ コ	—	—	13	—	13	—	—	4	—	6	19
38	スロバキア	—	—	—	3	3	—	—	—	12	16	19
38	トルコ	—	—	—	11	11	—	—	4	8	8	19
42	コンゴ	—	—	—	—	0	—	10	—	4	18	18
43	クウェート	—	8	—	7	15	—	—	2	—	0	15
43	スロベニア	—	—	2	8	10	—	—	9	3	5	15
45	マケドニア	—	—	—	3	3	—	—	—	2	11	14
46	イスラエル	9	—	—	3	12	—	—	—	—	0	12
47	フィンランド	—	—	—	11	11	—	—	—	—	0	11
47	ギリシャ	—	—	—	11	11	—	—	—	—	0	11
49	アルゼンチン	—	—	1	7	8	—	—	—	2	2	10
50	リトアニア	—	—	6	—	6	—	—	3	—	3	9
51	サウジアラビア	—	—	1	6	7	—	—	—	—	0	7
51	ルクセンブルグ	6	—	—	1	7	—	—	—	—	0	7

*は現在はない国名

計 報

教職員連盟名誉会長の高橋健夫氏が、10月4日ご逝去なされました。

高橋氏は、日本ハンドボール協会理事、評議員などを歴任なされ、数々のご功績を残されました。生前のご厚情に感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

元国際審判員の北井晴次氏が、10月2日急逝なされました。北井氏は審判員のキャリアはもとより、1967年スウェーデンで行われました世界選手権にナショナル選手として参加をされ、ご活躍なされた名プレーヤーでもありました。また、埼玉教員としてプレーされる傍ら、現在全国トップレベルにある埼玉の高校界の基盤を作り上げられました。

審判員としては、国際審判員の資格を取得されるや、ペアーの上久保重次氏とともに各国際大会で名ジャッジをしてこられました。国内大会では、日本ナンバー1ペアーとして全日本総合を歴代のペアーとしては、一番多く決勝を担当されました。

享年55歳という若さで、これから益々日本ハンドボール界のご指導をいただけるという矢先でした。誠に残念と言わざるをえません。

全国の皆様にご連絡申し上げるとともに、北井氏のご冥福をお祈り申し上げます。

日本リーグ日程変更のお知らせ

10月18日に開催予定でした女子1部・大和銀行×北国銀行、男子2部・トヨタ自動車×トクヤマの試合は、台風10号の影響で、下記のように延期されて開催となりました。

- 平成11年1月14日(木) 19:00~
堺市家原大池体育館
大和銀行×北国銀行
- 平成11年1月27日(水) 16:30~
守口市市民体育館
トヨタ自動車×トクヤマ

12・1月の行事予定

- 第50回全日本総合選手権大会(男女)
12月23日~26日;神戸グリーンアリーナ
- JOCジュニアオリンピックカップ
12月25日~27日;堺市金岡体育館
- 第15回男子世界学生選手権大会
12月28日~1月7日;新ユーゴスラビア
常務理事会;12月23日・神戸市
- 第13回アジア競技大会(下記日程参照)
事務局;仕事納め 12月26日(土)
99年仕事初め 1月6日(水)
- 第23回日本リーグ(後期)1月6日~3月14日(各地)

アジア大会女子日程

12月9日	日本×朝鮮民主主義人民共和国
10日	日本×中国
11日	日本×タイ
12日	日本×韓国
13日	
14日	日本×カザフスタン
15日	女子帰国

アジア大会男子日程

オマーン、バングラデシュ、サウジアラビアの出場辞退により、日程変更となり未定。

テレビ放映予定

- スカイA(第13回女子世界選手権大会放送予定)
12月12日(土) 18:30~20:00 韓国×クロアチア
- 12月18日(金) 22:00~23:30 ドイツ×ロシア
- 12月20日(日) 18:00~19:30 ノルウェー×デンマーク
TVK(日本リーグ放送予定)
1月10日(日) 16:35~18:00 中村荷役×大同特殊鋼
18:30~20:00 三陽商会×日新製鋼
NHK・BS アジア大会3試合を放映予定(カードは未定)

HAND BALL CONTETS NOVEMBER

巻頭言:21世紀に向けた広報・企画の充実 川上憲太	1	第23回日本リーグ序盤戦を振り返って …山下 泉	19
協会だより	2	“不況を乗り切れ”日本リーグ …山下 泉	20
神田清氏 勲五等瑞宝章を受賞	3	第6回アジア男子ジュニア選手権大会参加所見	
全国理事長研修会	4	…………… 西山逸成	22
特集:第53回国民体育大会	6	列島縦断:岩手県の巻 …………… 谷藤勝美	26
速報:全日本学生選手権大会	12	寄稿:IHF本部訪問記 …………… 北村善夫	27
第50回全日本総合選手権大会展望	14	第15回世界学生選手権大会選手団決定 ……………	28
故荒川清美名誉顧問を偲ぶ会を開催	16	IHFニュース ……………	30
フリースロー …………… 早川文司	18	12月の行事予定/計報/告知 ……………	32

柔らかな感触で、最適なバウンド!

new



PKCH3-AD DX
5,500円

新発売

new



PKCH2-AD DX
5,400円

new



PKCH1-ADJ
3,600円

アデランテ 前進

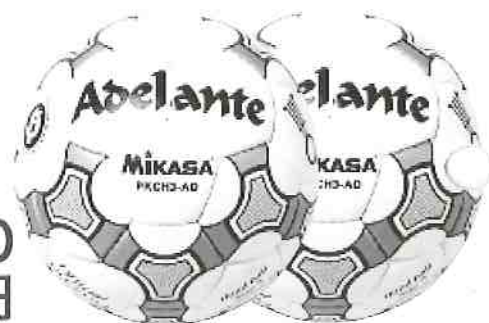
手縫い・国際公認球



PKCH3-AD
4,600円



PKCH2-AD
4,500円



PKCH2-ADR
2,700円



PKCH3-ADR
2,800円



MIKASA[®]
明星ゴム工業株式会社

私たちに

NOという商品はありません。



製品から、さまざまな仕組みやノウハウまで、
私たちは目に見えない商品もお届けしています。
国や産業という垣根も越えて、
用意している答えはいつでも、YES。
私たちは国際総合企業、ITOCHUです。



豊かさを担う責任。

伊藤忠商事株式会社

Visit our Internet site at <http://www.itochu.co.jp>

(財)日本ハンドボール協会編

『ハンドボール』

第三九二号

昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可

平成十年十一月二十六日印刷
平成十年十二月一日発行

東京 豊洲 谷区 神南一 一〇一
電話 代表 三〇八二一三三六
振替 〇〇二〇一七一〇二九三

編集兼
発行人 市原則之

価格は登録金を含む